



Australian Government
Australian Office of Financial Management

AOFM

AGS投資家向け図表・情報パッケージー2025-26年度連邦予算

オーストラリア財務省債務管理庁（AOFM）

2025年3月

オーストラリアの財務状況

対GDP比の基礎的現金財政収支（パーセント表示）

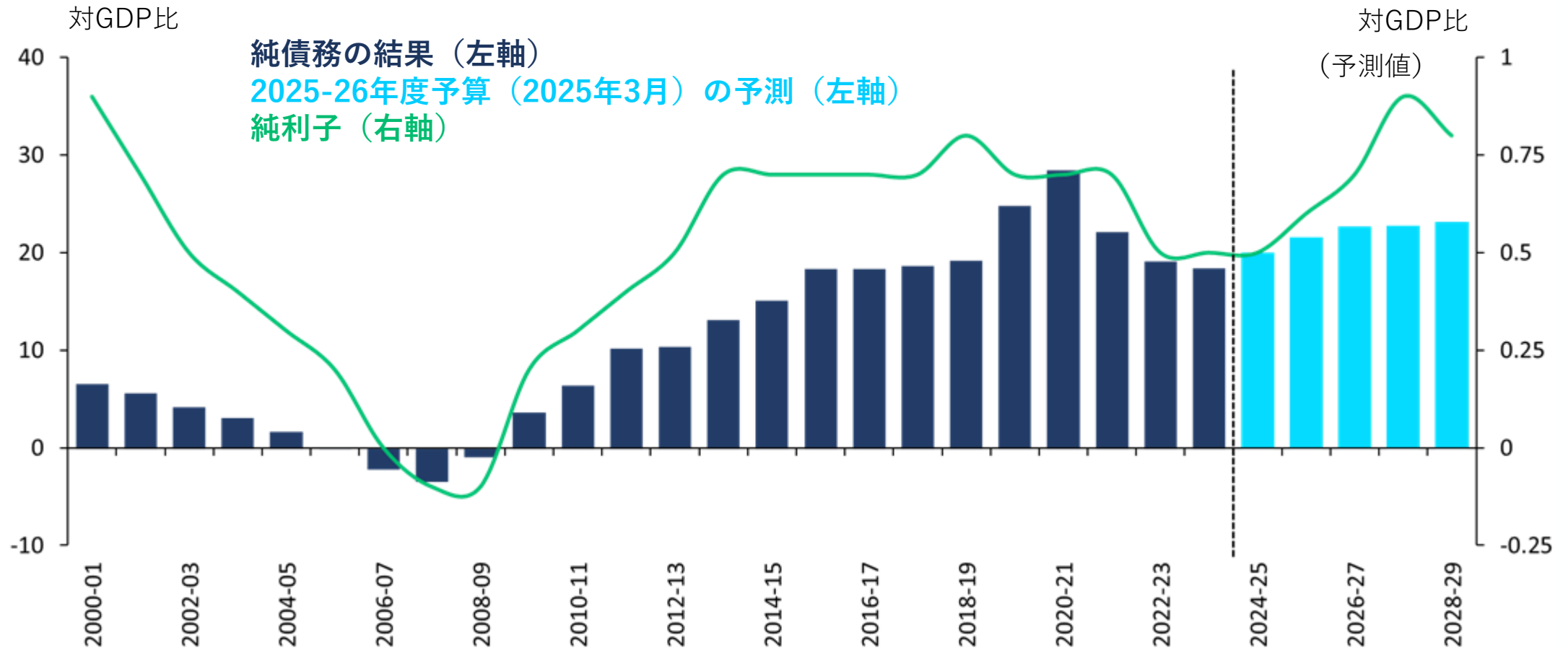
2024-25年度の基礎的現金赤字は276億ドル（対GDP比1%）と予想され、2024-25年度の年央経済・財政見通し（MYEFO）の予想より7億ドル高いが、対GDP比では横ばいとなっている。現金赤字は2025-26年度のGDP比1.5%でピークに達し、2028-29年度にはGDP比1.1%まで減少すると予想されている。



出典：オーストラリア財務省 2025-26年度予算。

オーストラリアの純債務の推移

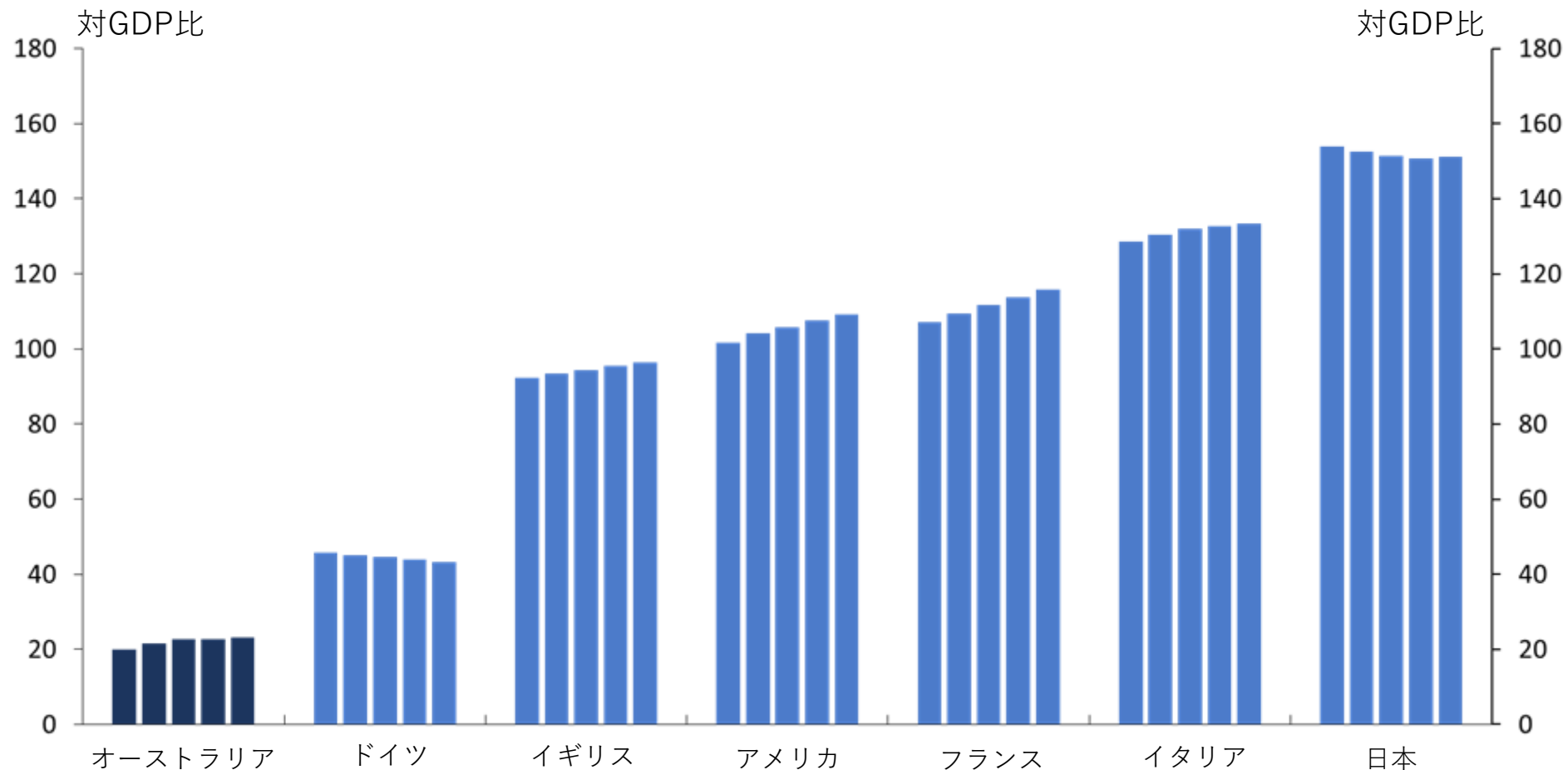
2024-25年度の純債務はGDP比19.9%（5,560億ドル）との予測で、2024-25年度MYEFOの予測GDP比19.6%（5,400億ドル）をわずかに上回る。純債務は2024-25年度MYEFOと比べ、各年の将来見積りにおいてわずかに増加すると予想される。純利子支払いは2024-25年度も変わらずGDP比0.5%と予想され、将来見積りでも引き続き1%を下回ると予想される。



出典：オーストラリア財務省 2025-26年度予算。

各国の純債務比較

2025年～2029年（予想）

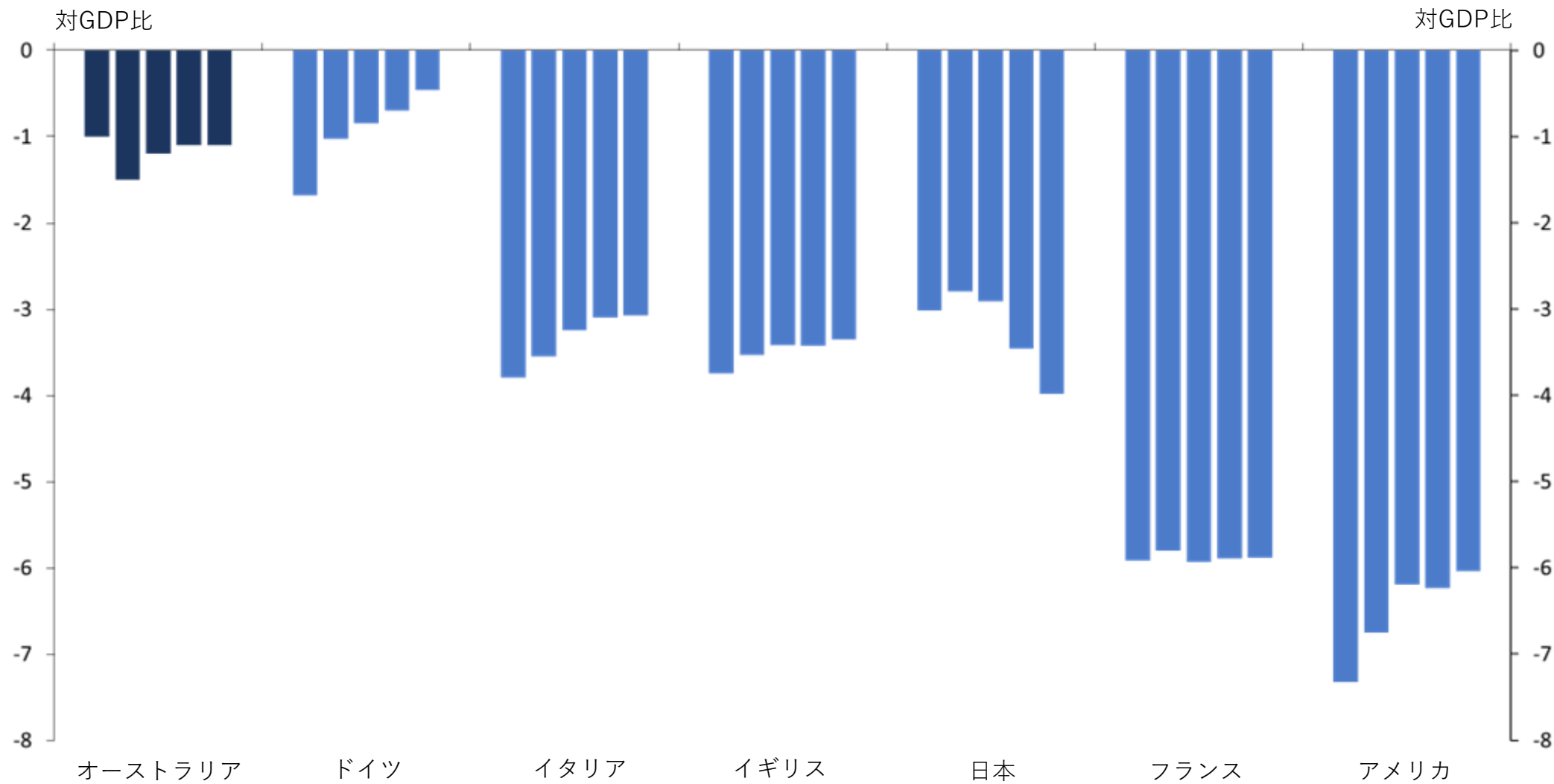


注：オーストラリアのデータは、2024-25年度から始まる会計年度のものでオーストラリア政府一般行政部門が対象。その他の国に関するデータは、2025年から始まる暦年のもので政府全部門が対象。

出典：オーストラリア財務省 2025-26年度予算、IMF財政モニター2024年10月。

各国の財務状況比較

2025年～2029年（予想）



出典：オーストラリア財務省 2024-25年度予算、IMF財政モニター2024年10月。比較対象国の予測は2024年10月時点のものであり、直近の支出は考慮されていない。

オーストラリア国債（AGS）

3種類の証券を発行

トレジャリー・ボンド

発行済み総額

8,720億ドル

30品目発行中

2025-26年度総発行額（見込み）

約1,500億ドル

トレジャリー・インデックス・ ボンド

発行済み総額

410億ドル

7品目発行中

2025-26年度総発行額（見込み）

20億ドル～30億ドル前後

トレジャリー・ノート

発行済み総額

435億ドル

9品目発行中

詳細情報

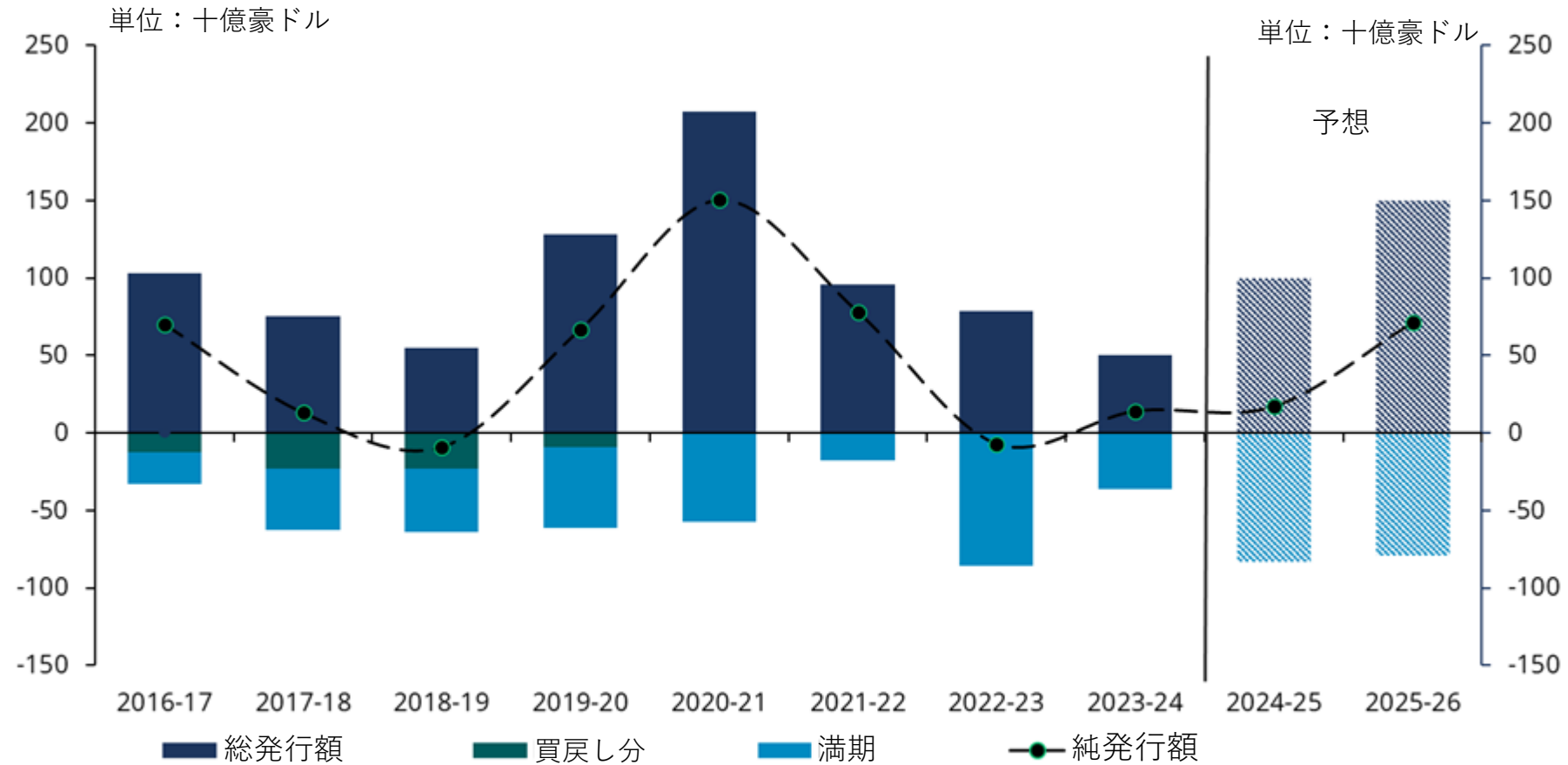
- 予算予測に基づき、2024-25年度のトレジャリー・ボンド（グリーン・トレジャリー・ボンドを含む）の発行額は約1,000億ドルに修正（このうち753億ドルは2025年3月25日時点で発行済み）。
- 2025-26年度のトレジャリー・ボンド（グリーン・トレジャリー・ボンドを含む）の発行額は約1,500億ドルを予定。
- 2024-25年度のトレジャリー・インデックス・ボンドの発行額は約30億ドルを予定（このうち23億ドルは2025年3月25日時点で発行済み）。
- 2025-26年度の入札によるトレジャリー・インデックス・ボンドの発行額は20-30億ドルを予定（シンジケーションによる追加発行も検討の可能性あり）。
- AOFMはキャッシュマネジメントのため、今後もトレジャリー・ノートの定期発行による同市場への積極的な参加を継続していく。

注：数値は2025年3月25日時点。

トレジャリー・インデックス・ボンドに記載されている額は、CPIの変動に対する調整前の発行済み債券の額面価格に基づく。

トレジャリー・債券発行額の構成

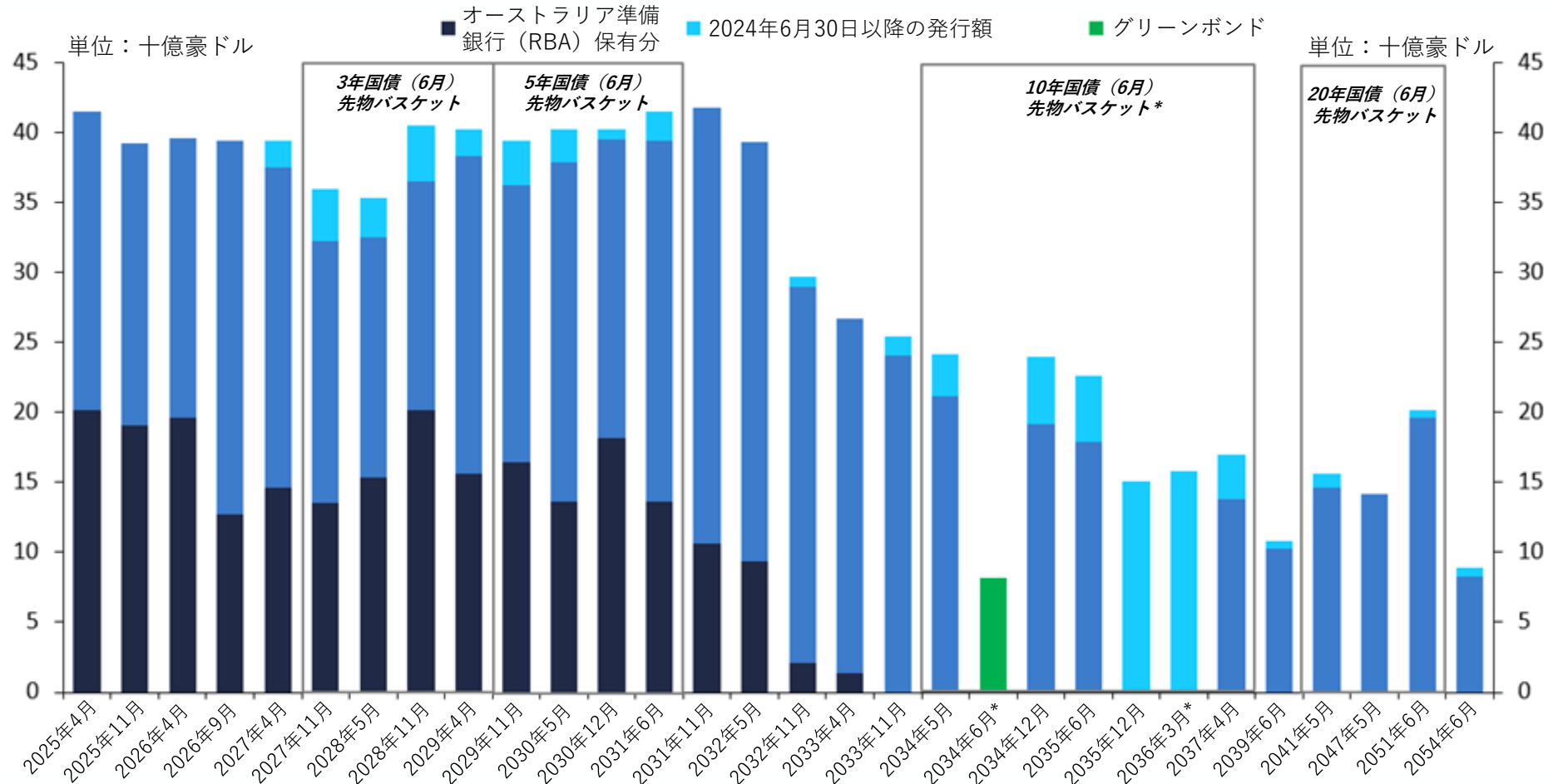
額面価格



出典：AOFM

現在発行されているトレジャリー・ボンド

AOFMは引き続き、イールドカーブの最も流動性の高い（需要の高い）部分を活用し、予定されている発行の大部分を下支えする一方、需要に対応し適切な量を発行することにより、市場の他の部分のサポートも行う。

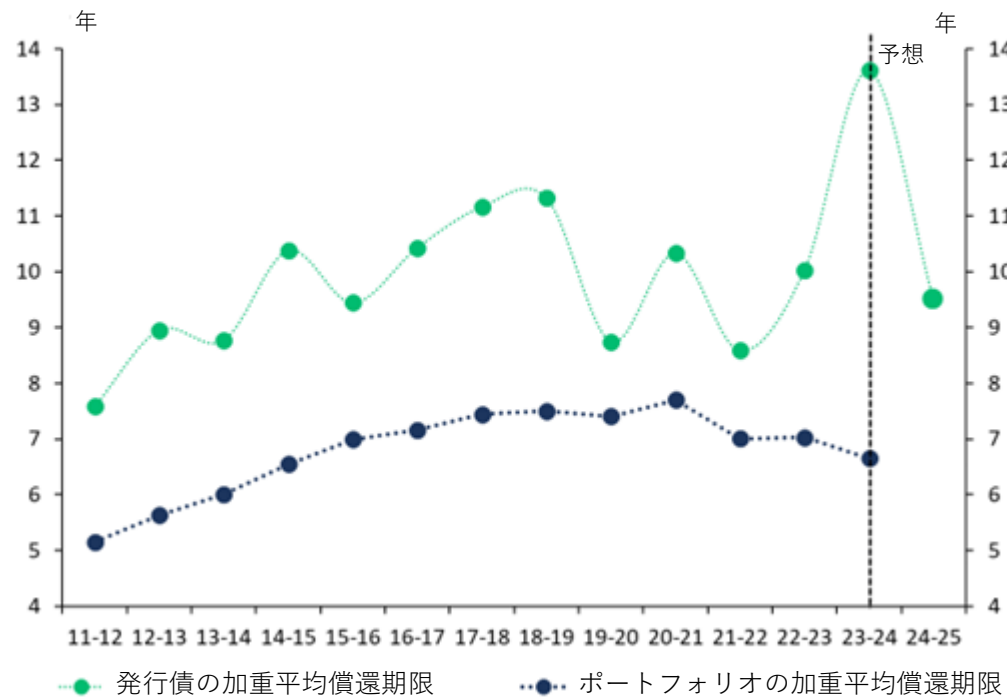


出典：AOFM。2025年3月25日現在。*2034年6月グリーンボンドは10年先物契約に含まれていない。2036年3月債は2025年9月の10年先物契約に含まれる。

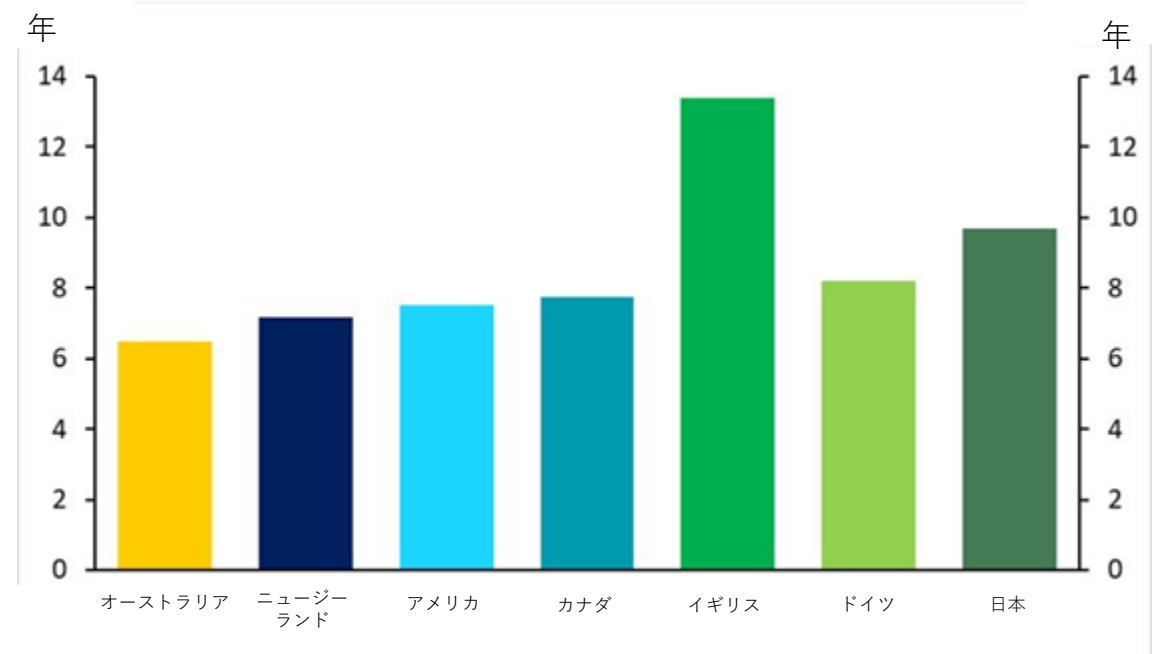
トレジャリー・ボンド曲線

トレジャリー・ボンド曲線は流動的で成熟しており、30年まで延長されている。AOFMは、イールドカーブをこれ以上延長する計画はなく、償還期間30年というベンチマークの維持と、既発債への追加発行による超長期債の継続的なサポートに注力していく。AOFMは、最長債券の満期が28年程度である時に、新規30年物ベンチマークの確立を検討している。

加重平均償還期限



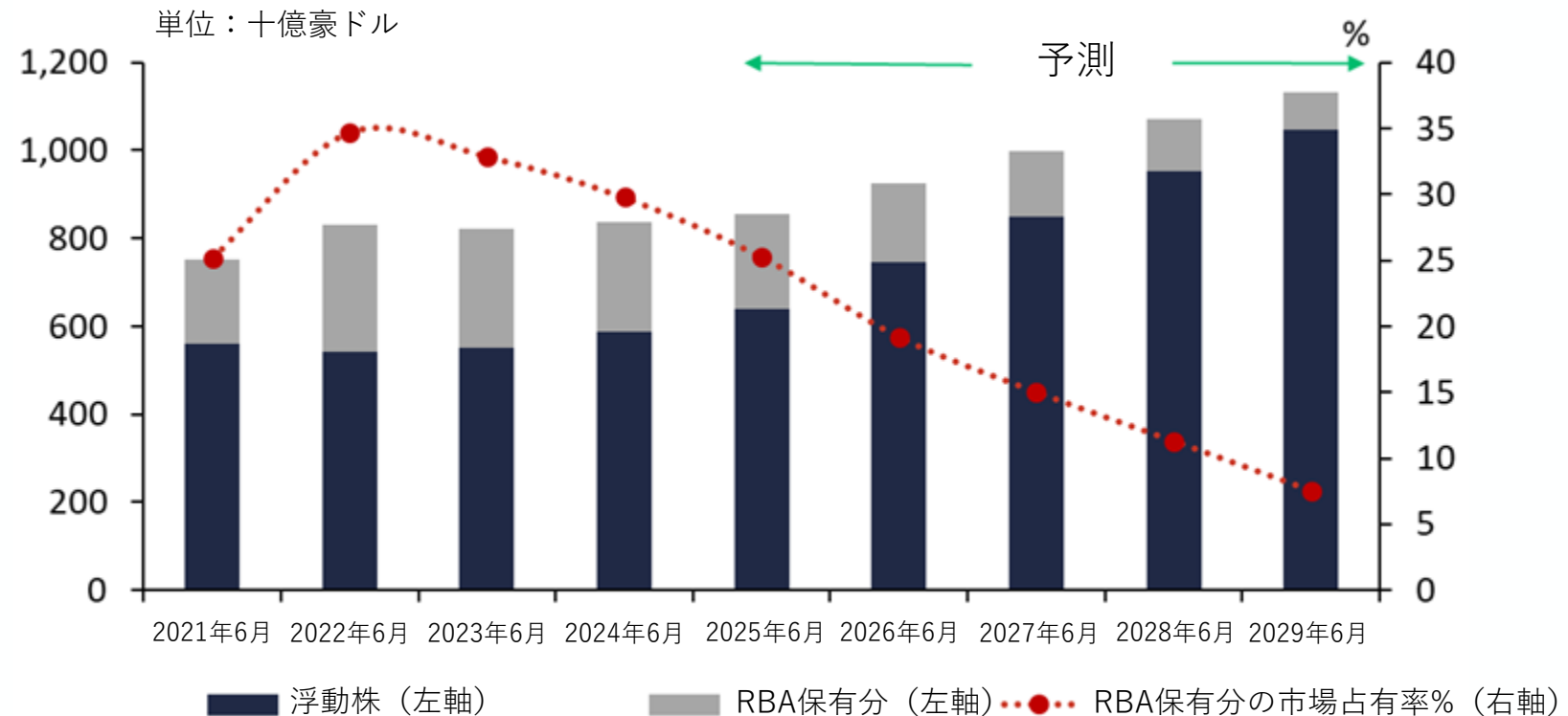
ポートフォリオの加重平均償還期限の国別比較



出典：AOFM。2024-25年度は2025年3月25日までの会計年度。

トレジャリー・ボンドの発行残高とRBA保有分の予測

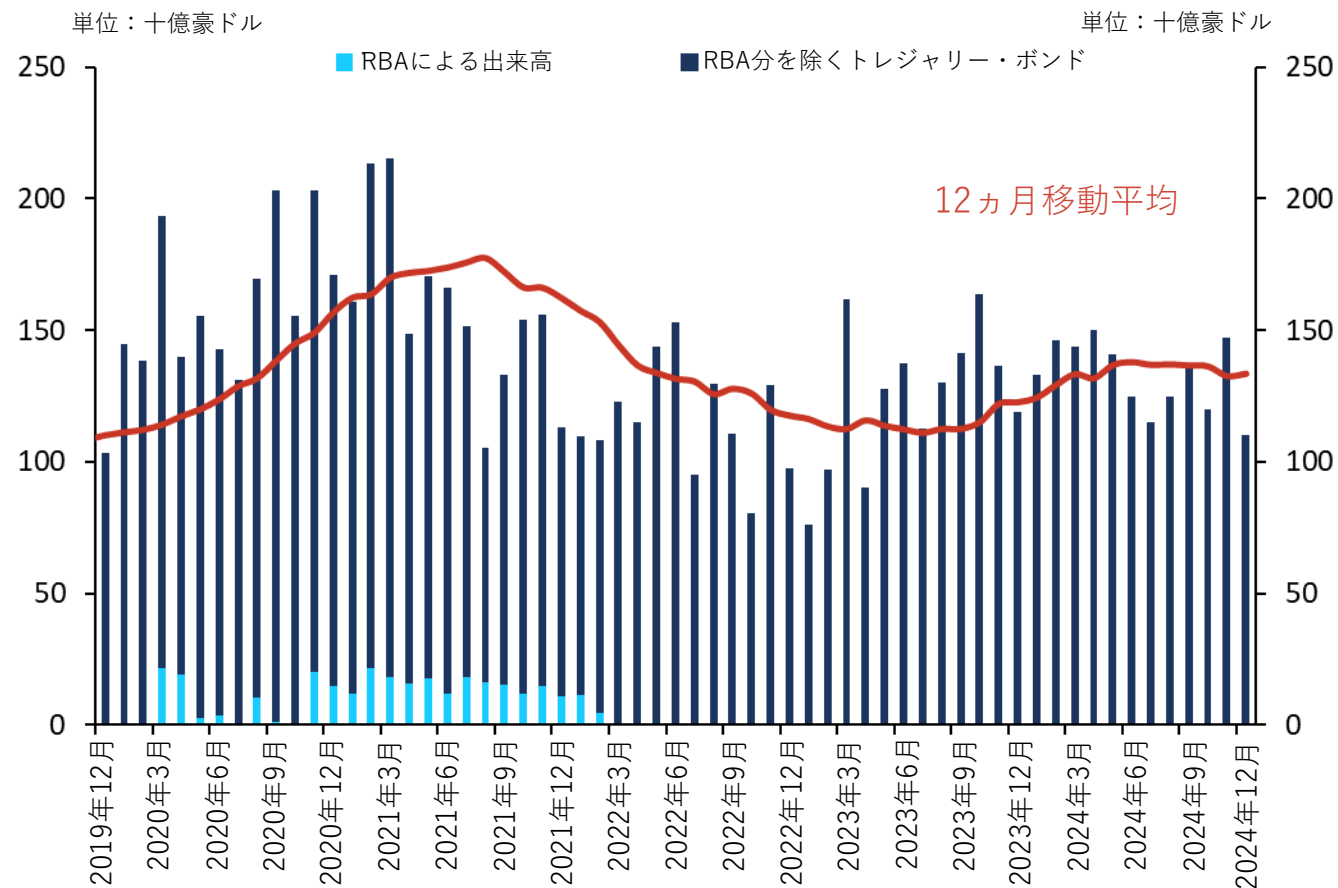
- RBAの債券購入プログラムは、2022年2月に終了。RBAは現在、発行済みトレジャリー・ボンドの約27%を保有。
- トレジャリー・ボンドの総発行残高に占めるRBA保有分の割合は、RBA保有分が満期を迎えるにつれ徐々に低下するものと予想される。



出典：オーストラリア財務省 2025-26年度予算、RBA、AOFM。

トレジャリー・ボンドのセカンダリー市場 出来高の推移

AGS市場における流動性には依然として魅力がある一特に3年物および10年物の先物バスケットではこれが顕著に。セカンダリー市場出来高は、2023-24年度は2022-23年度より高く、AGB市場の拡大を考慮してもコロナ禍以前の水準を維持している。



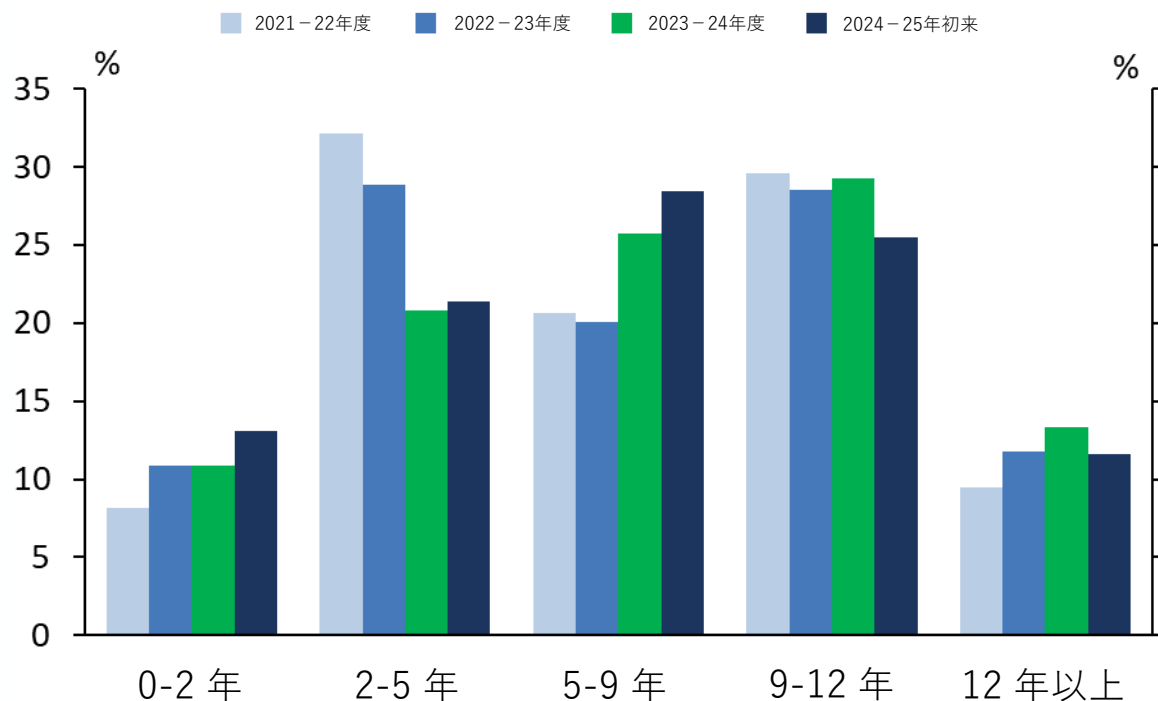
出典：AOFM。AOFMは、調査回答者から提供されたデータに依拠しており、このデータの正確性を保証するものではない。

出来高－トレジャリー・ボンド

出来高総額1兆6,300億豪ドル（2023-24年度）

1兆3,300億豪ドル（2022-23年度）

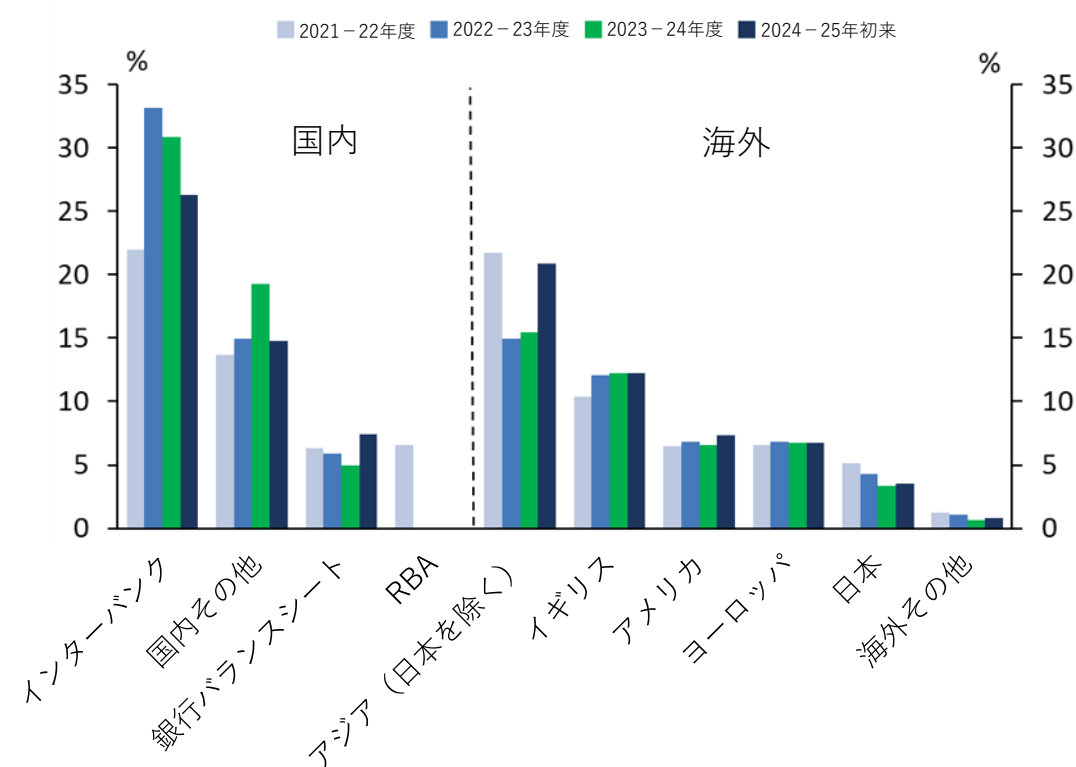
残存期間別出来高



月平均1,360億豪ドル（2023-24年度）

1,110億豪ドル（2022-23年度）

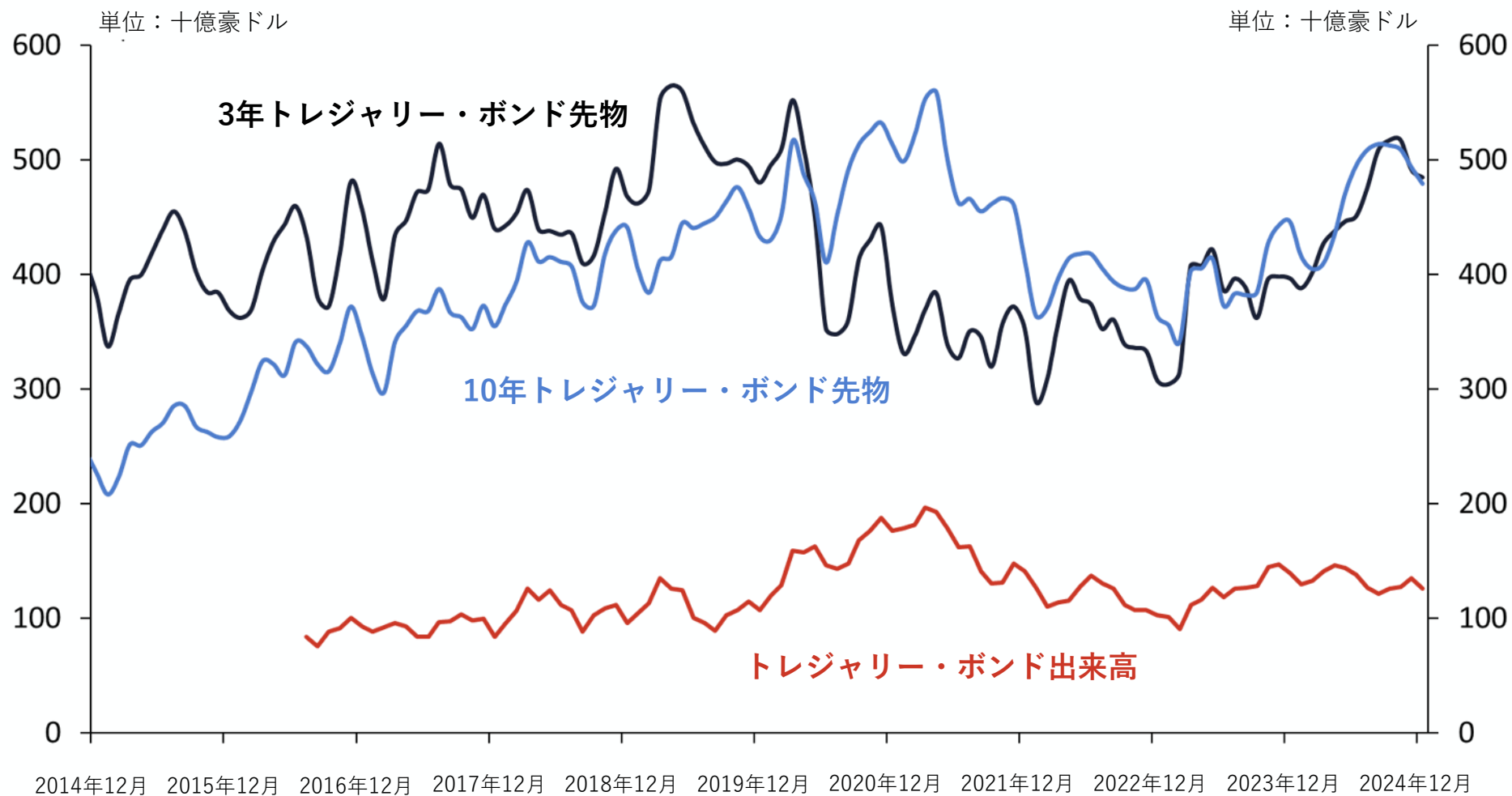
カテゴリー別出来高



出典：AOFM。AOFMは調査回答者から提供されたデータに依拠しており、このデータの正確性を保証するものではない。2024-25年初来は2024年7月1日から2024年12月31日まで。

先物市場におけるトレジャリー・ボンドの推移

月別出来高（3カ月移動平均）

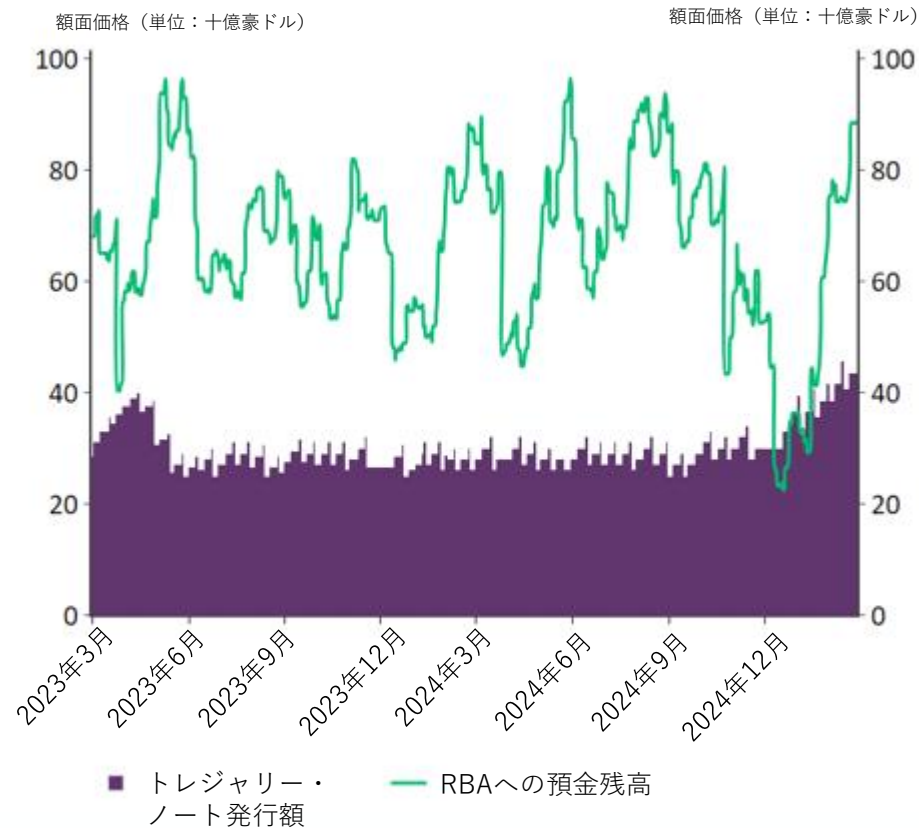


出典：オーストラリア証券取引所（ASX）、リフィニティブ、AOFM。

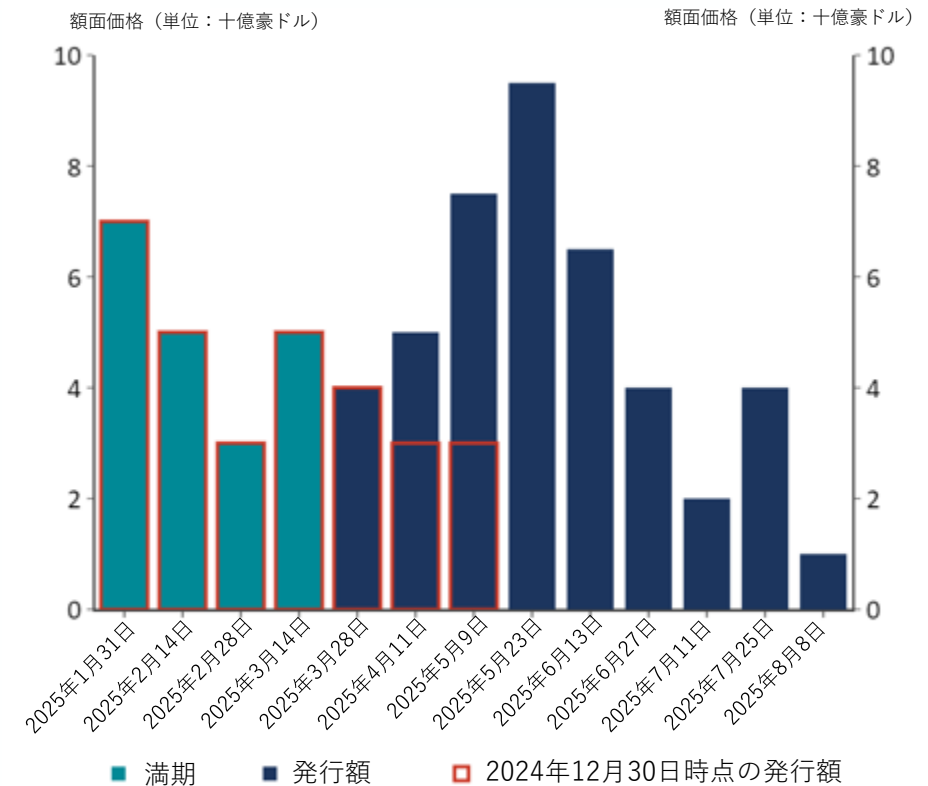
トレジャリー・ノート発行額の推移

トレジャリー・ノートの定期発行は今後も継続の予定。毎週の発行量は政府の歳入・歳出のタイミングおよび規模、そしてAOFMのキャッシュ・ポートフォリオ需要に関する評価に基づいて決定。投資家のエンゲージメントを確保するために、最低でも250億ドル相当のトレジャリー・ノートが発行されている状態を維持。

トレジャリー・ノートの発行額とRBAへの預金残高



発行済みトレジャリー・ノート

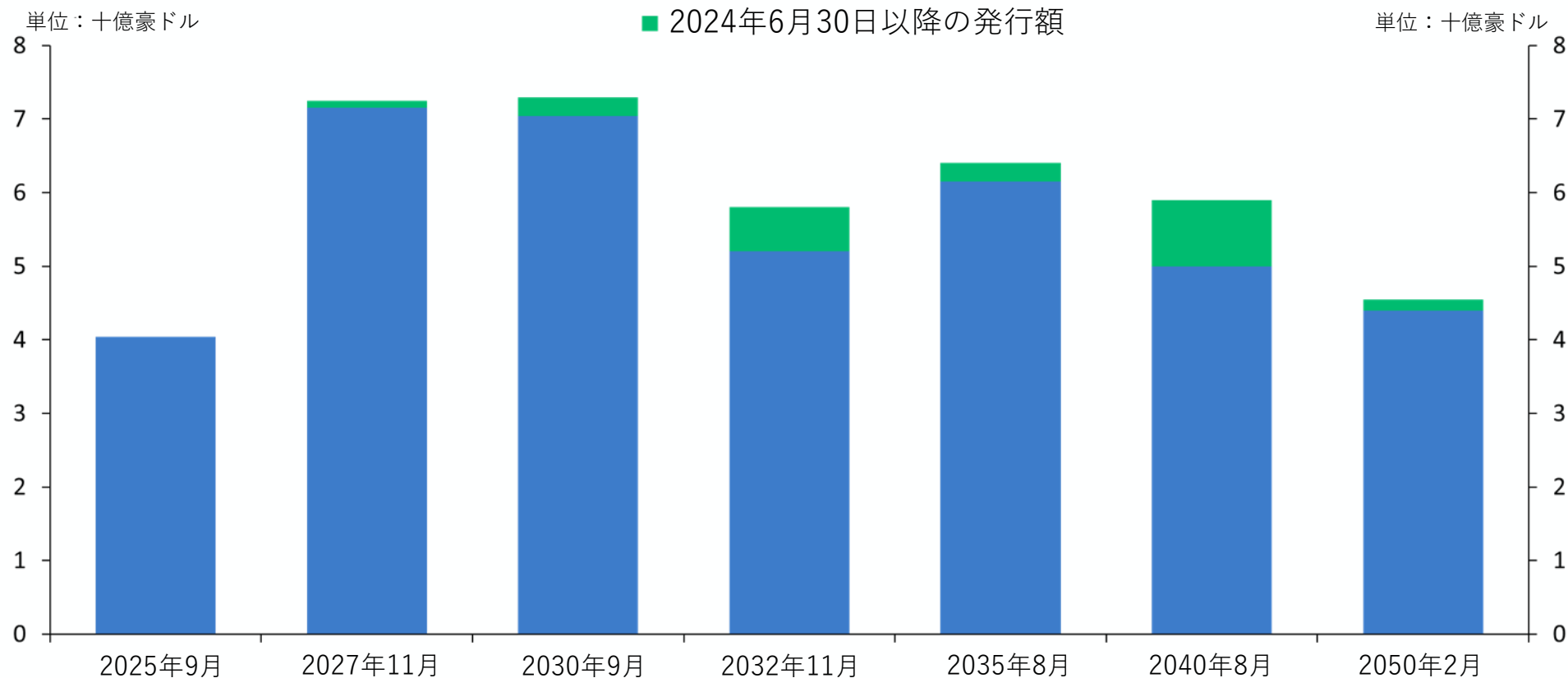


出典: AOFM

現在発行されているトレジャリー・インデックス・bond

表示額はCPI調整前の額面価格

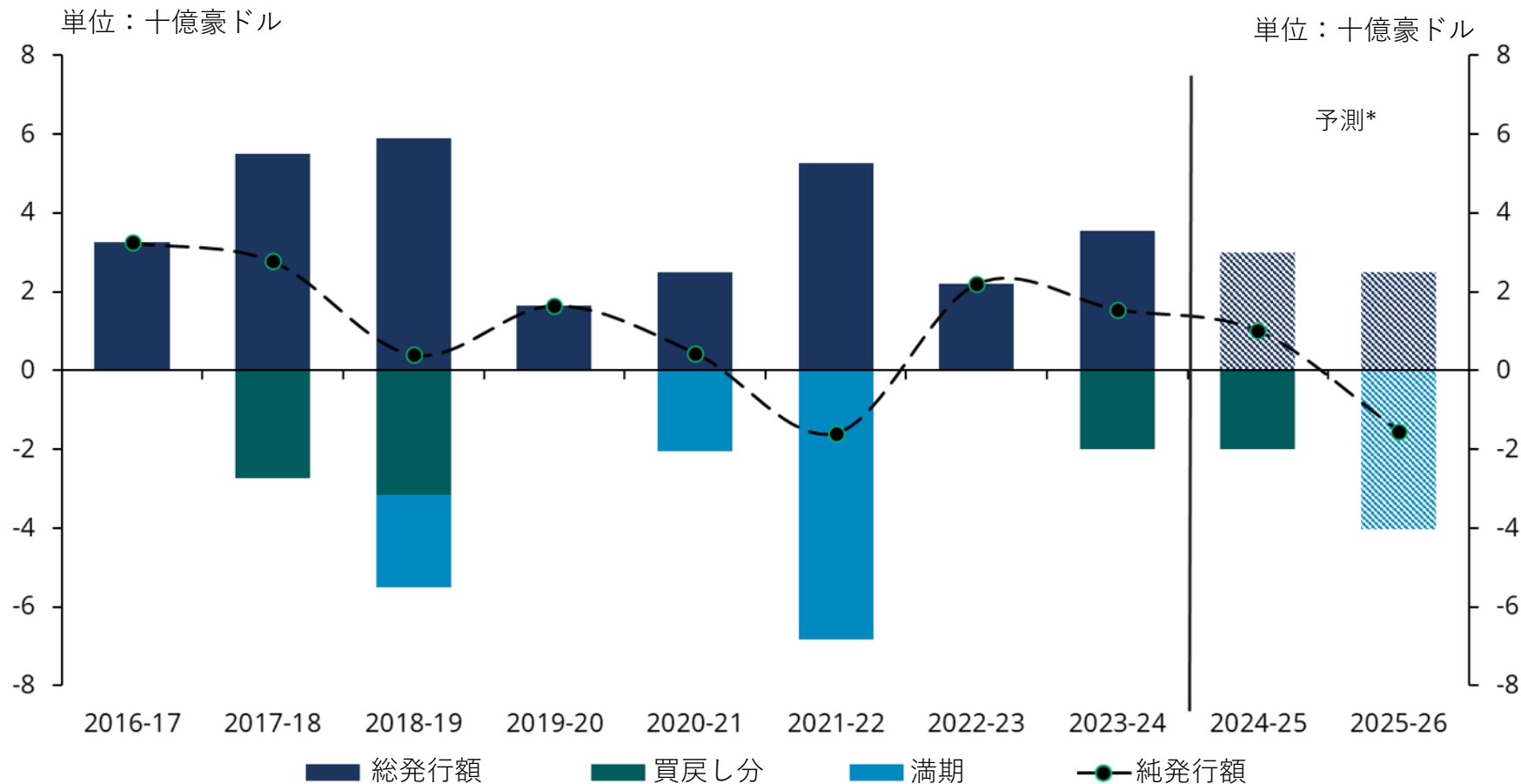
AOFMは今後も定期発行による供給でトレジャリー・インデックス・bond市場をサポートしていく。市況と投資家からのフィードバックが、発行決定における重要な決定要因であり続ける。ABSは2025年後半より、CPIの発行を四半期から月次に変更する予定。AOFMはトレジャリー・インデックス・bondのプログラムへの影響について市場参加者と協議を行っている。



出典：AOFM。2025年3月25日現在。

トレジャリー・インデックス・ボンドの発行

表示額はCPI調整前の額面価格



出典：AOFM。*2025-26年度の入札によるトレジャリー・インデックス・ボンドの発行額は20-30億ドルを予定（シンジケーションによる発行の可能性を除外）。

出来高—トレジャリー・インデックス・ボンド

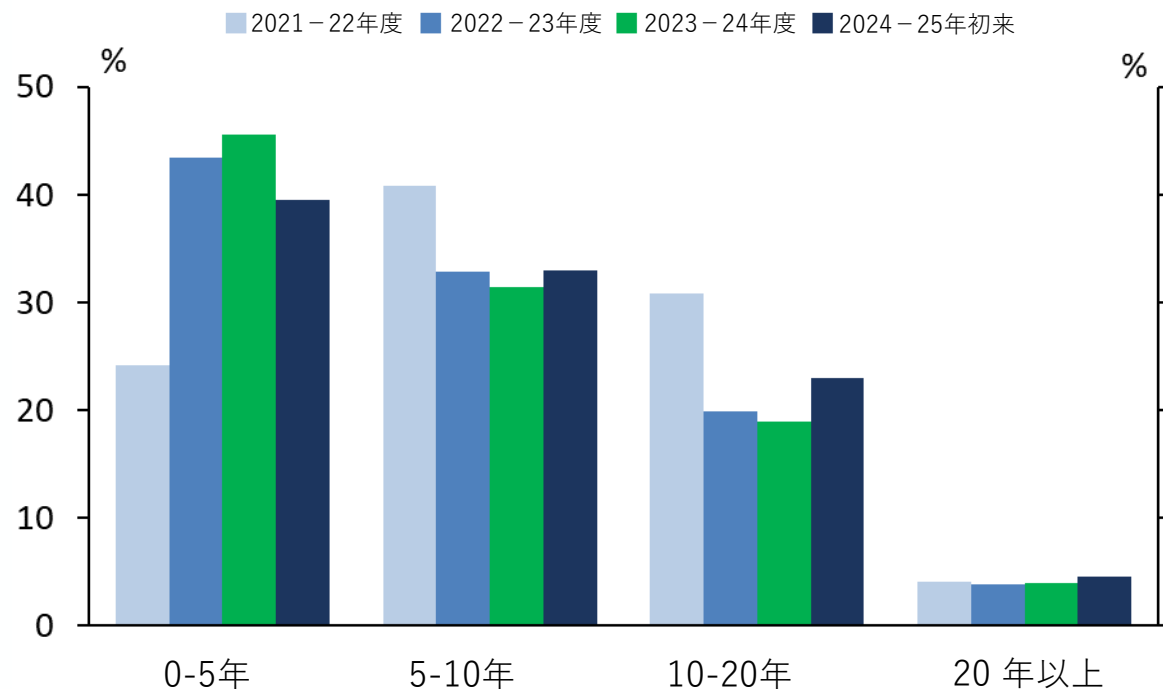
出来高総額380億豪ドル（2023-24年度）

430億豪ドル（2022-23年度）

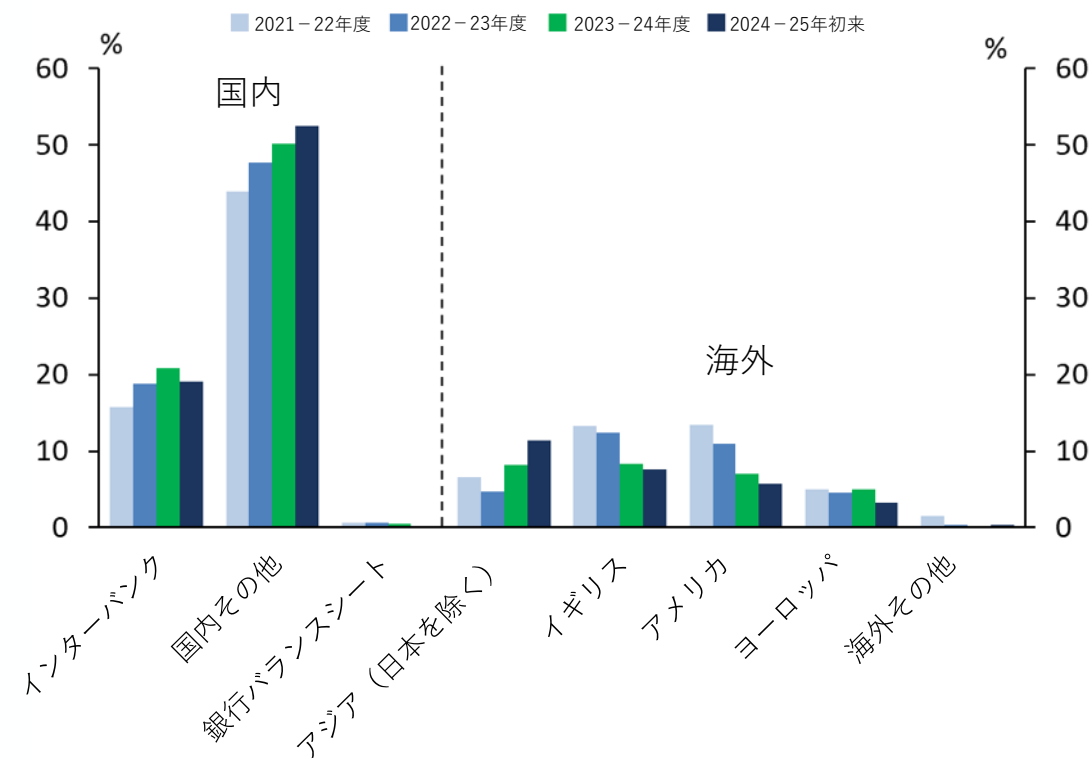
月平均32億豪ドル（2023-24年度）

36億豪ドル（2022-23年度）

残存期間別出来高



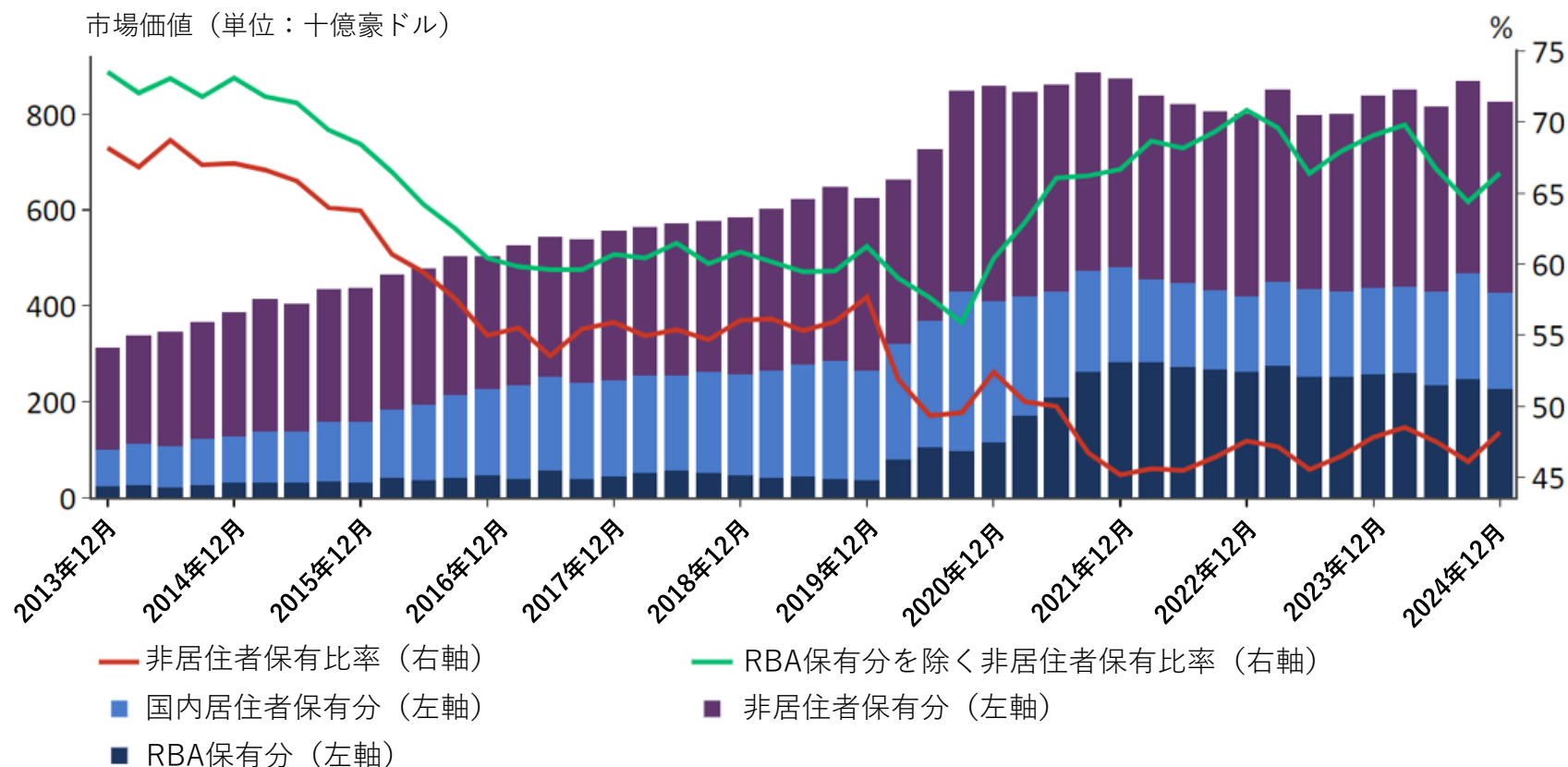
カテゴリー別出来高



出典：AOFM。AOFMは調査回答者から提供されたデータに依拠しており、このデータの正確性を保証するものではない。2024-25年初来は2024年7月1日から2024年12月31日まで。

非居住者によるAGB保有状況

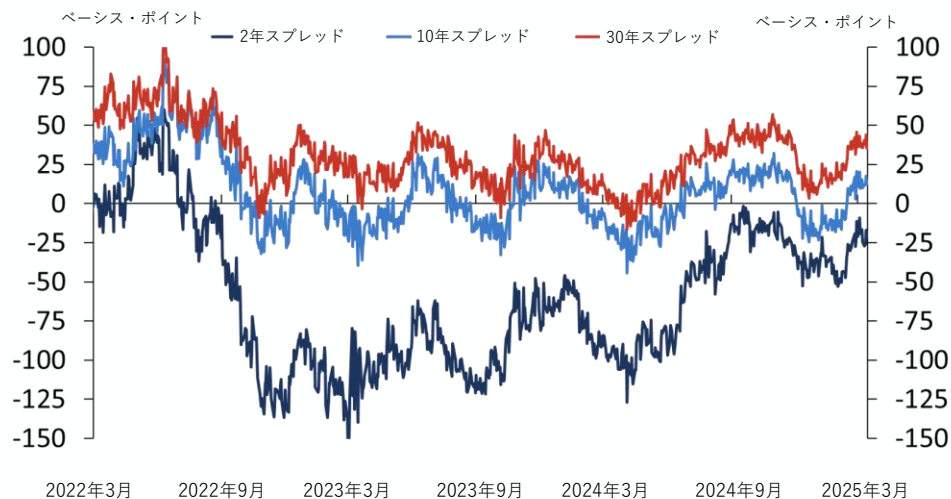
- AGS市場は他の主要ソブリン債市場と比較しても、海外投資家にとってその魅力を維持。海外投資家ベースは、公的機関、資産運用会社、保険会社、年金基金、ヘッジファンドで構成されている。
- AGSの豪州国内投資家ベースの内訳は、銀行バランスシートとファンドマネージャーへの割り当てが主な部分を構成しているが、RBAもAGSを大量に保有している。
- 過去三年間、AGS投資家ベースの全体に構造的な変化はほとんどなかった。市場全体におけるAGSの非居住者保有比率は、比較的安定している。



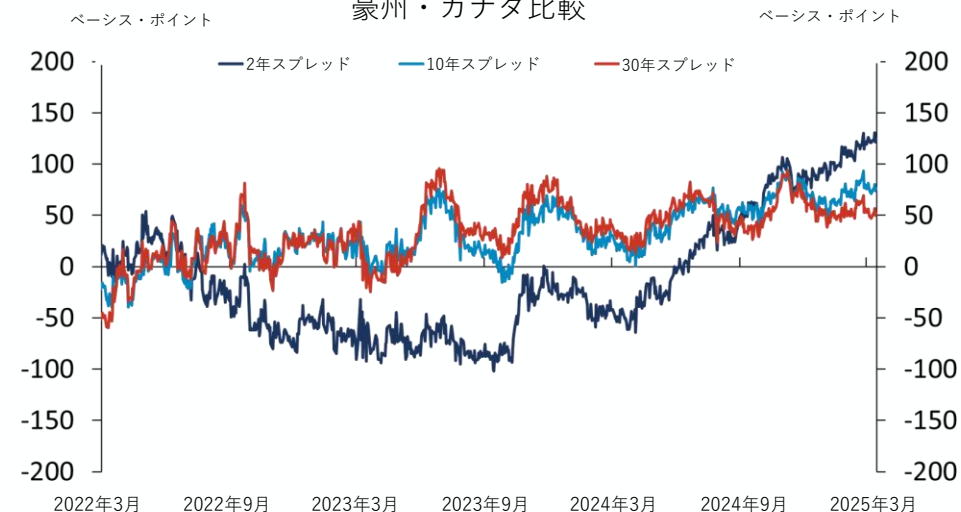
出典：ABS、RBA、AOFM。AGBはトレジャリー・ボンドおよびトレジャリー・インデックス・ボンドを指す。2024年12月31日更新。

オーストラリアのソブリン債スプレッド

豪州・米国比較



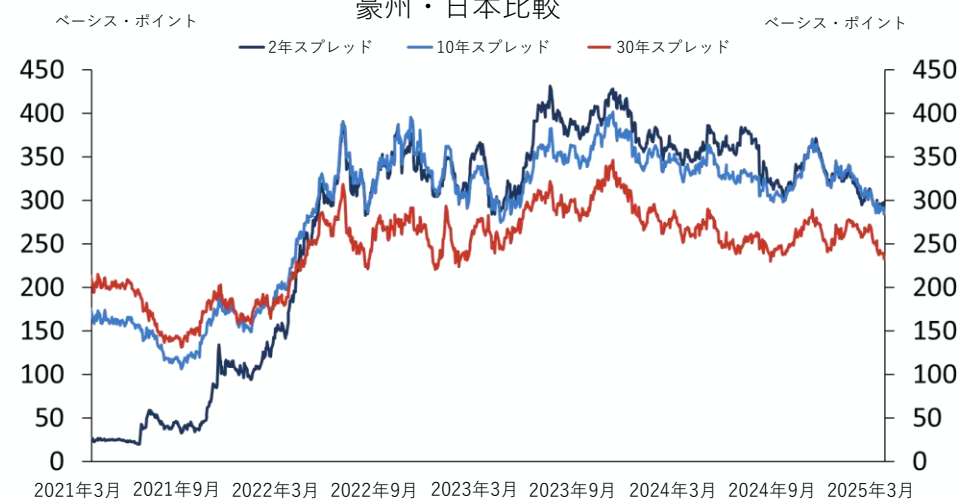
豪州・カナダ比較



豪州・イギリス比較



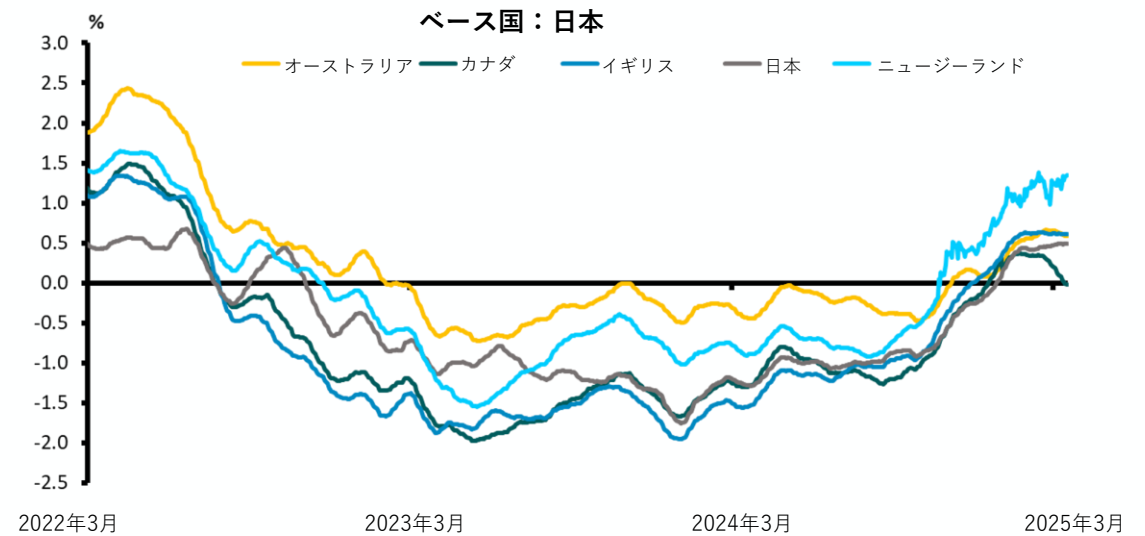
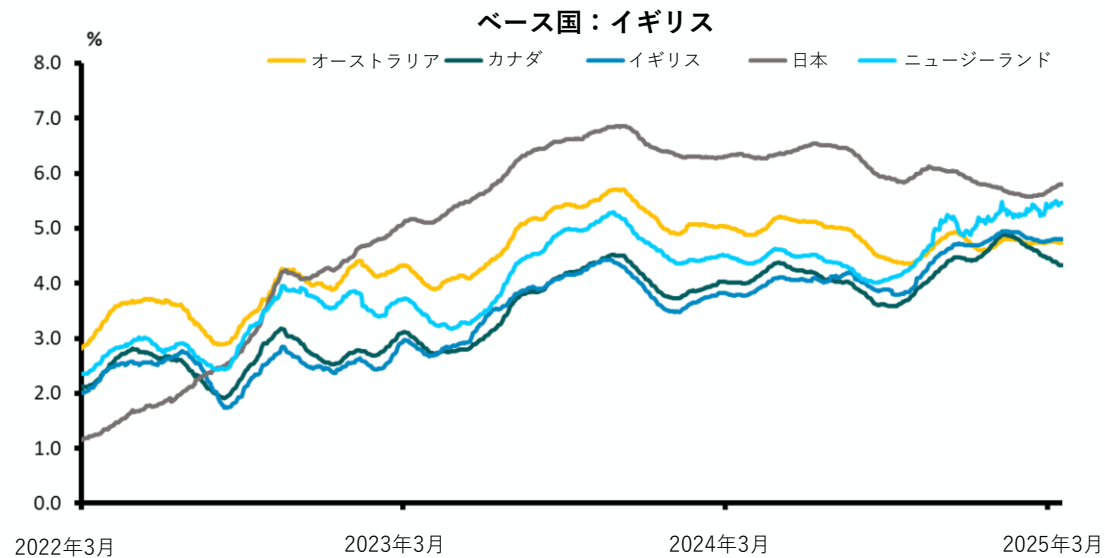
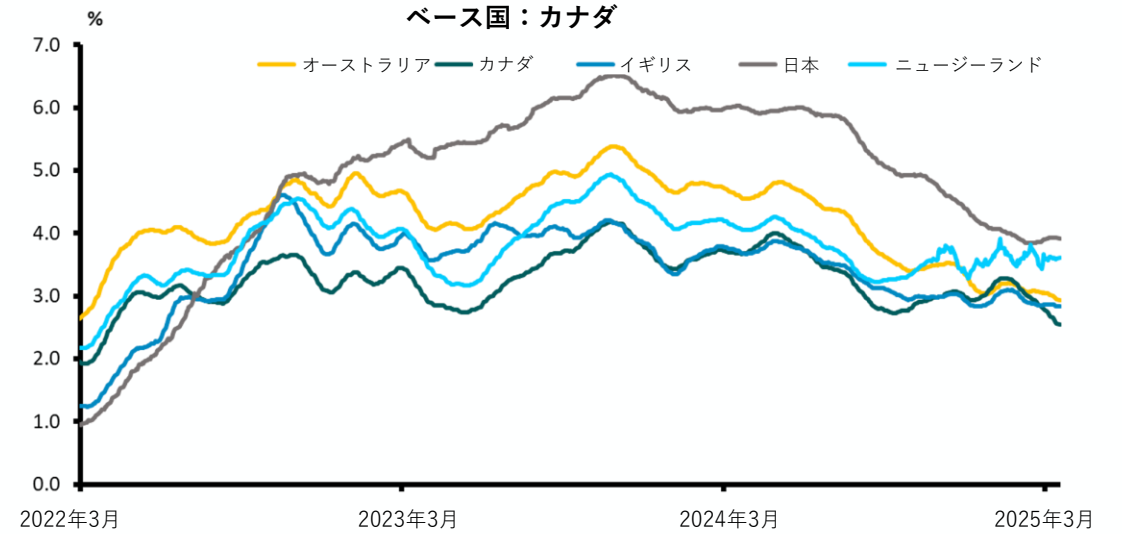
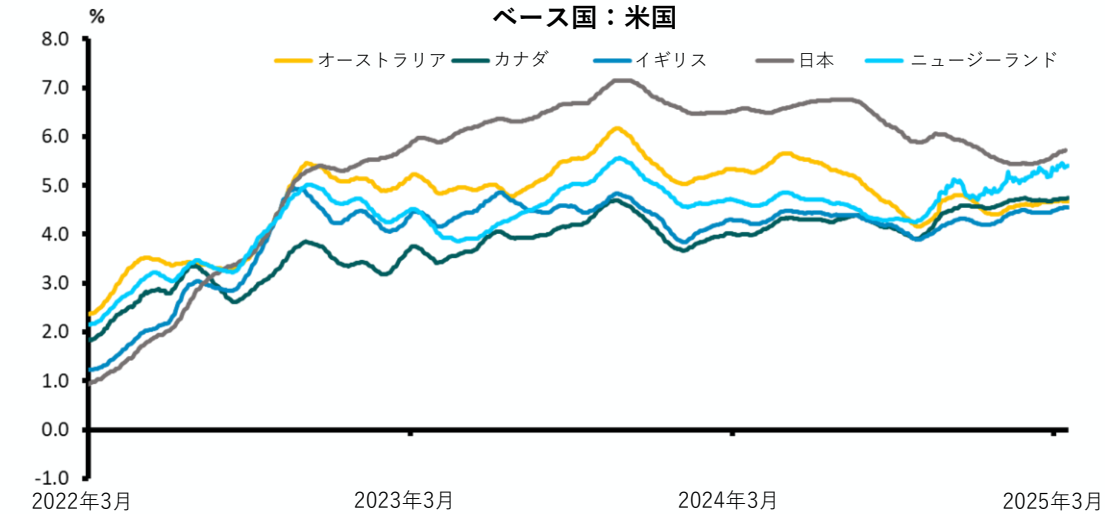
豪州・日本比較



出典：リフィニティブ。2025年3月21日更新。

為替ヘッジ10年利回り

三カ月物為替フォワードによるアウトライト・ヘッジ（20日移動平均）



出典：ブルームバーグ、AOFM。2025年3月24日更新。

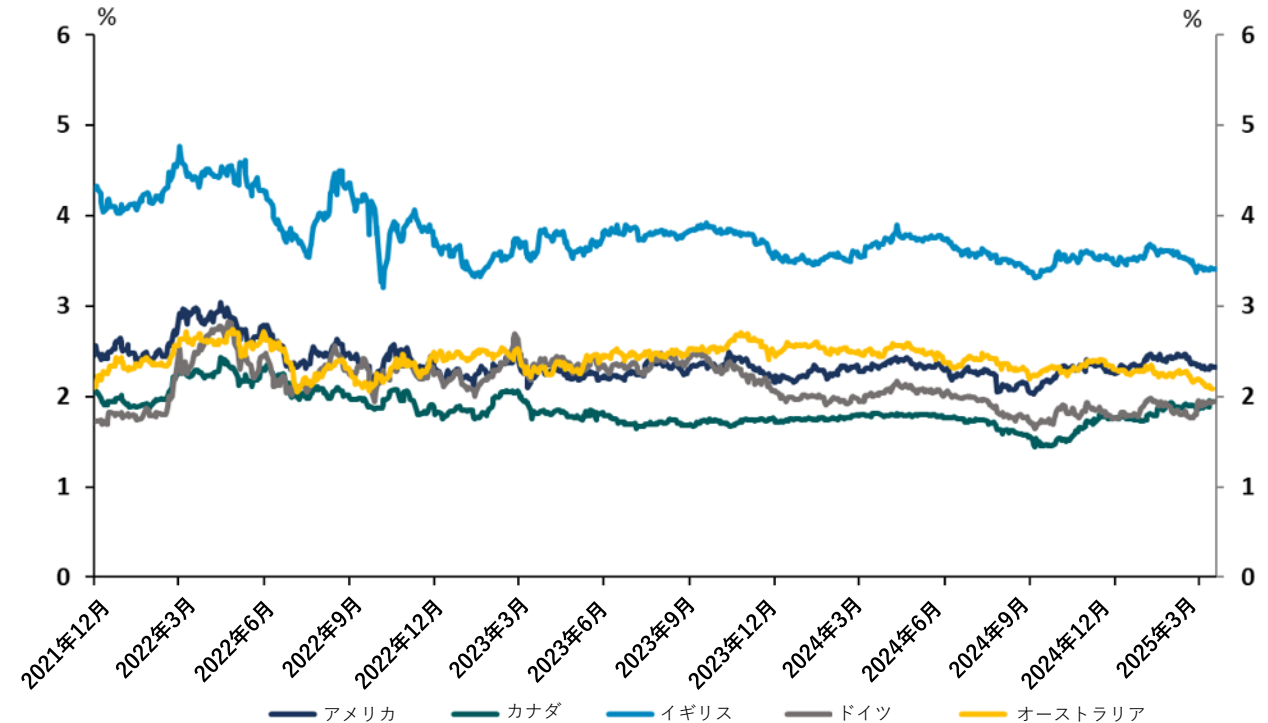
ソブリン・インフレ連動債の比較

10年債

イールド

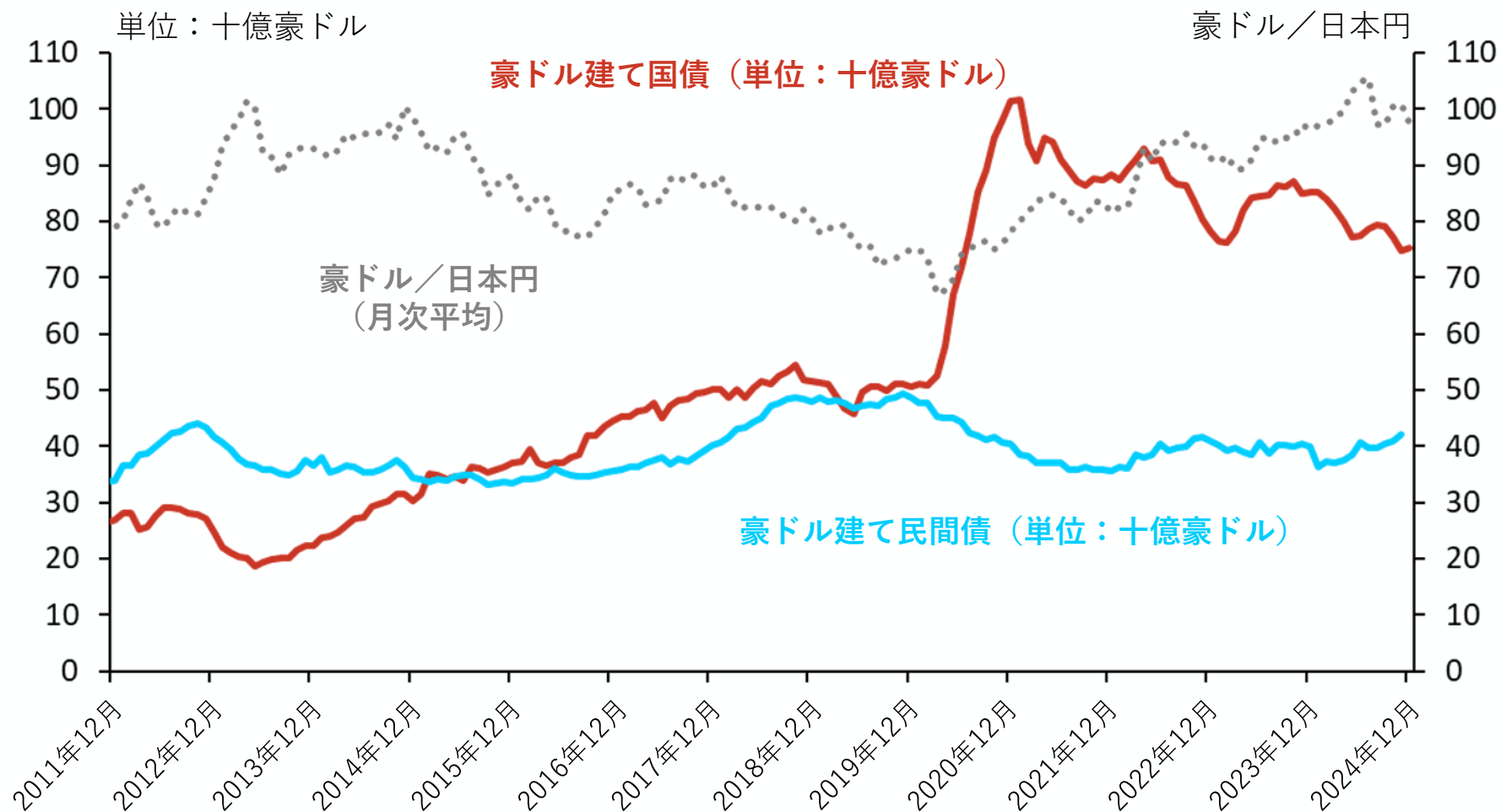


ブレイクイーブンインフレ率



出典：リフィニティブ。2025年3月24日更新。

日本の投資家による AGBへの純投資額（単位：十億豪ドル）



出典：日本財務省、ブルームバーグ。豪ドル建て国債には、AGBと準国債が含まれる。

中央銀行の外貨準備金の米ドルおよびユーロ以外への配分

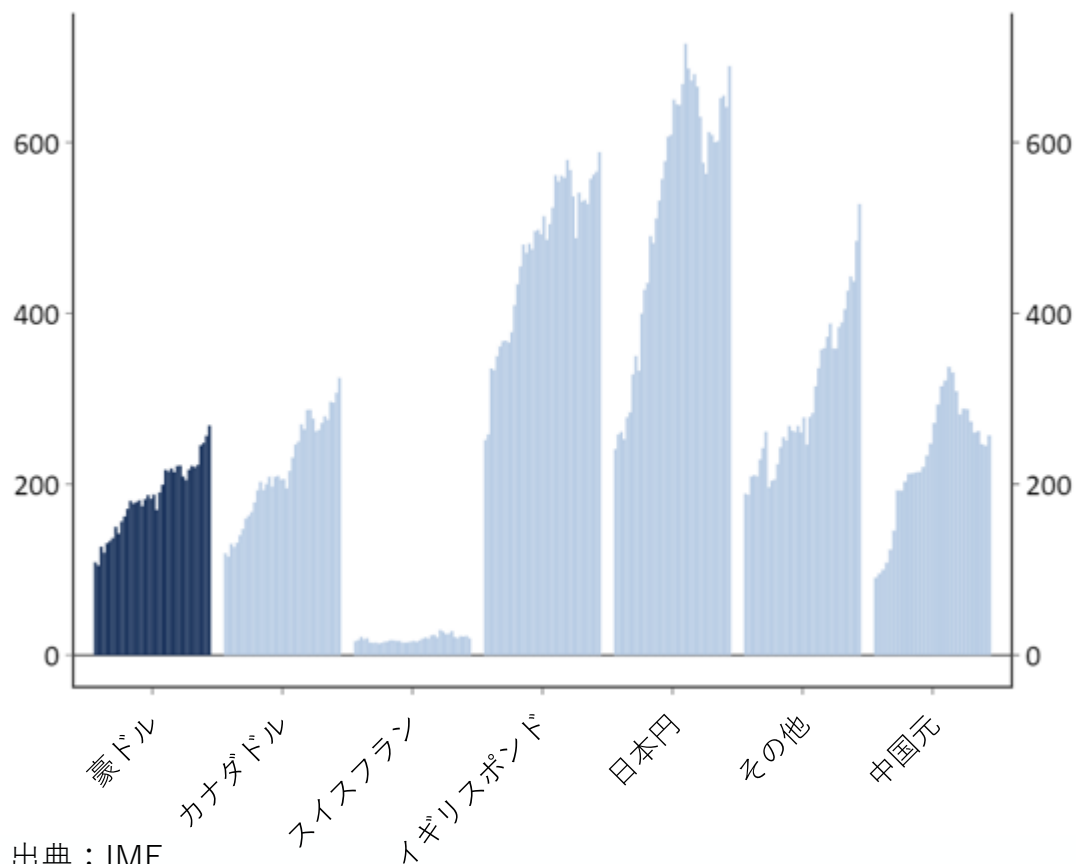
2014年から2024年

配分額（単位：十億米ドル）

配分された準備金の割合

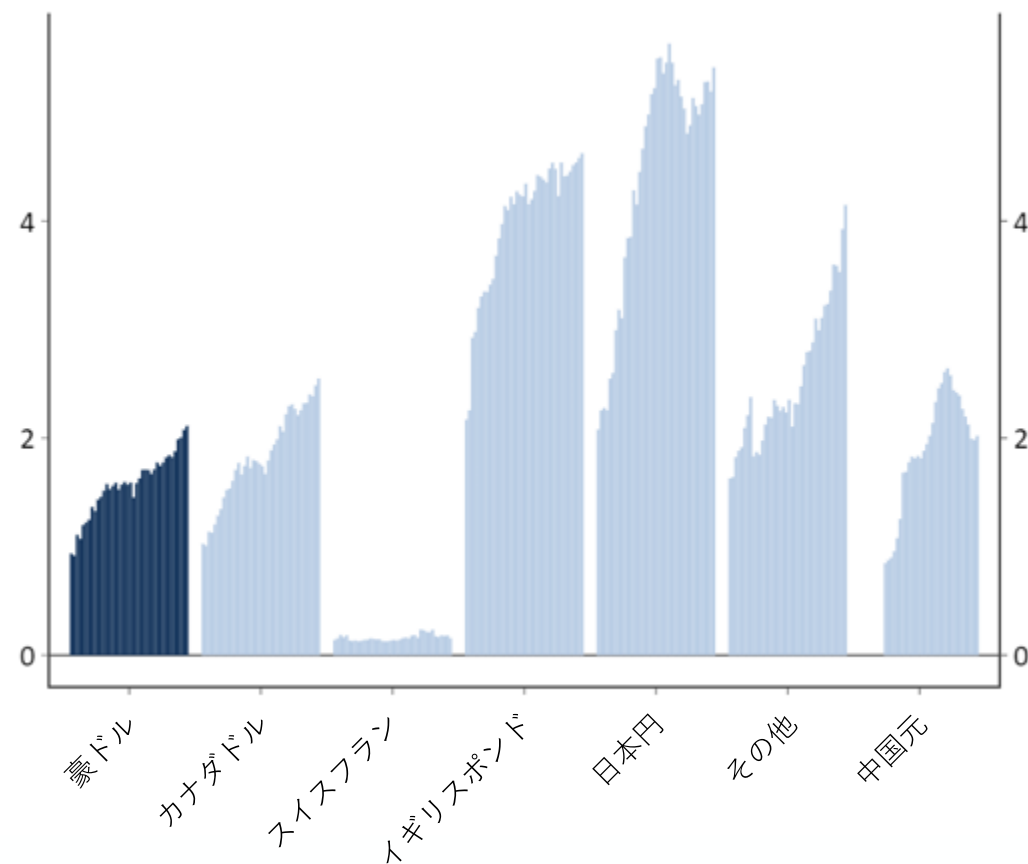
市場価値（単位：十億米ドル）

市場価値（単位：十億米ドル）



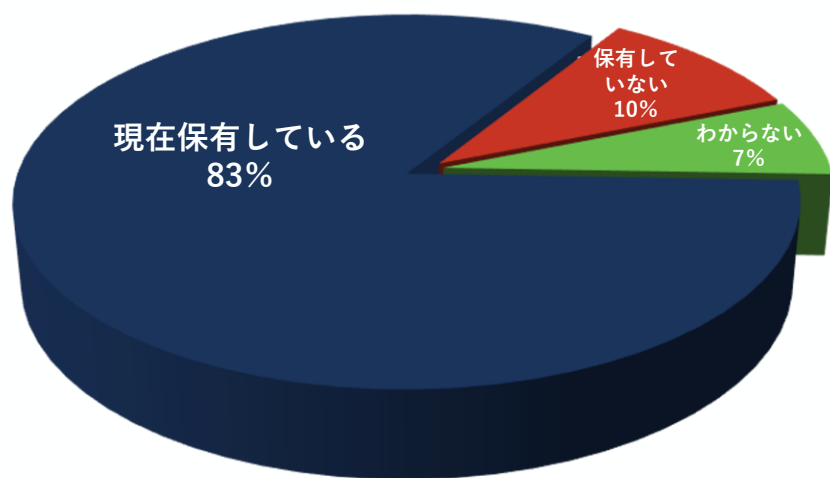
%

%

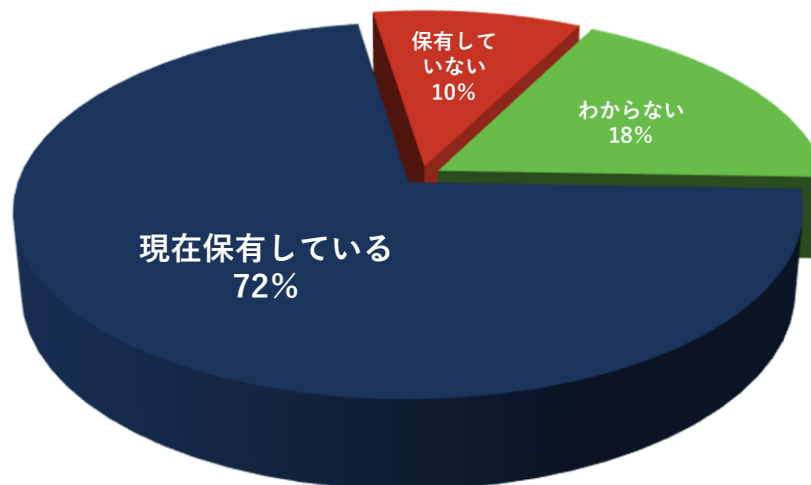


出典：IMF

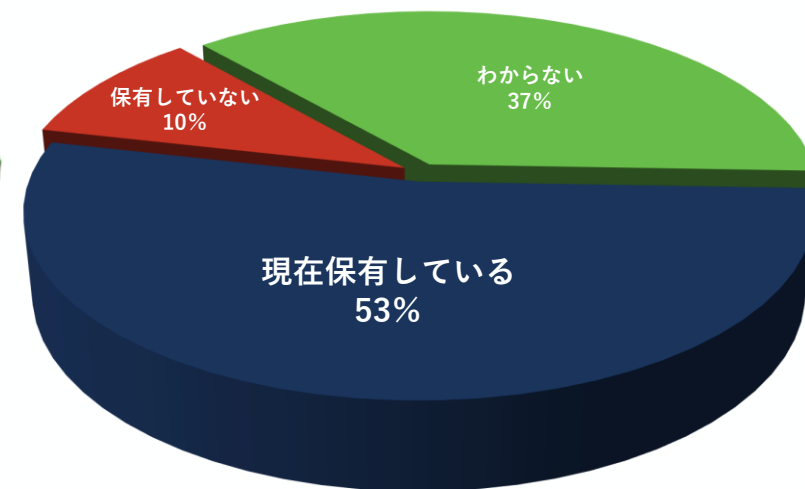
外貨準備管理会社におけるAGSの保有状況



世界の外貨準備高上位30社



世界の外貨準備高上位50社

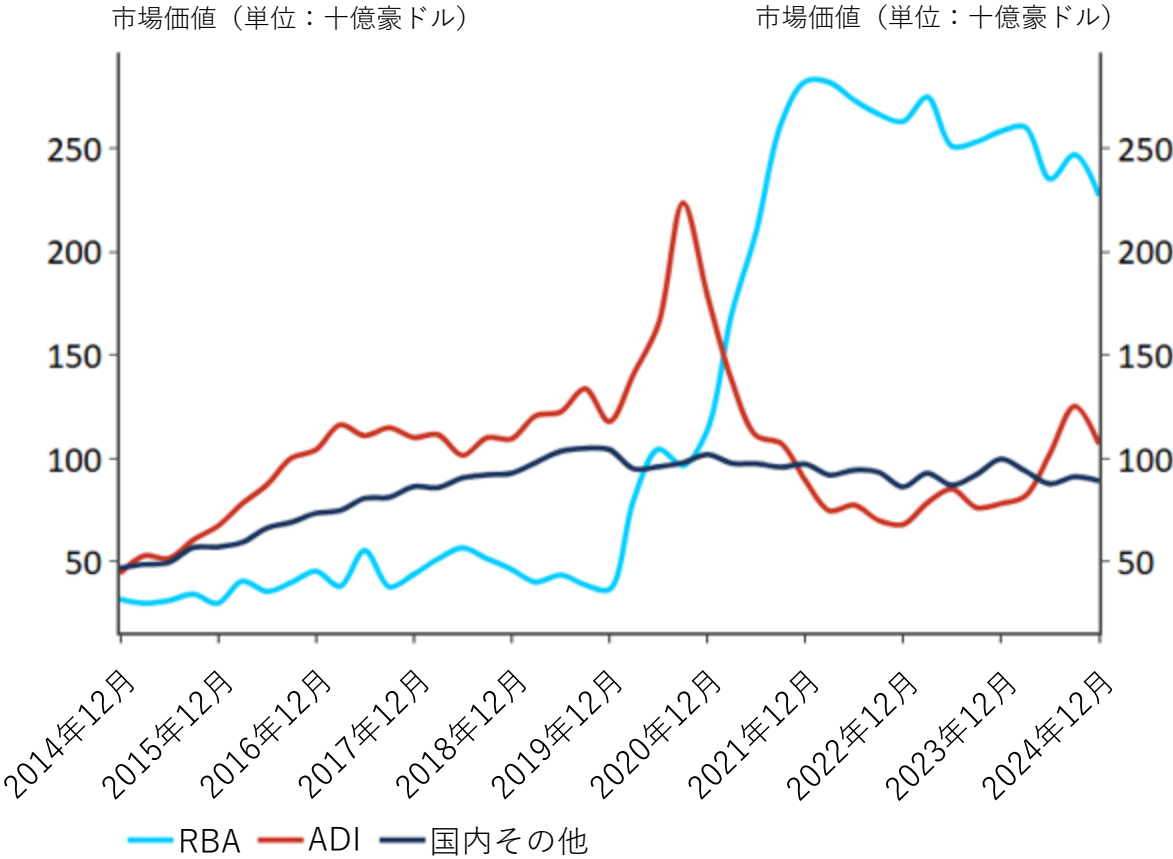


世界の外貨準備高上位100社

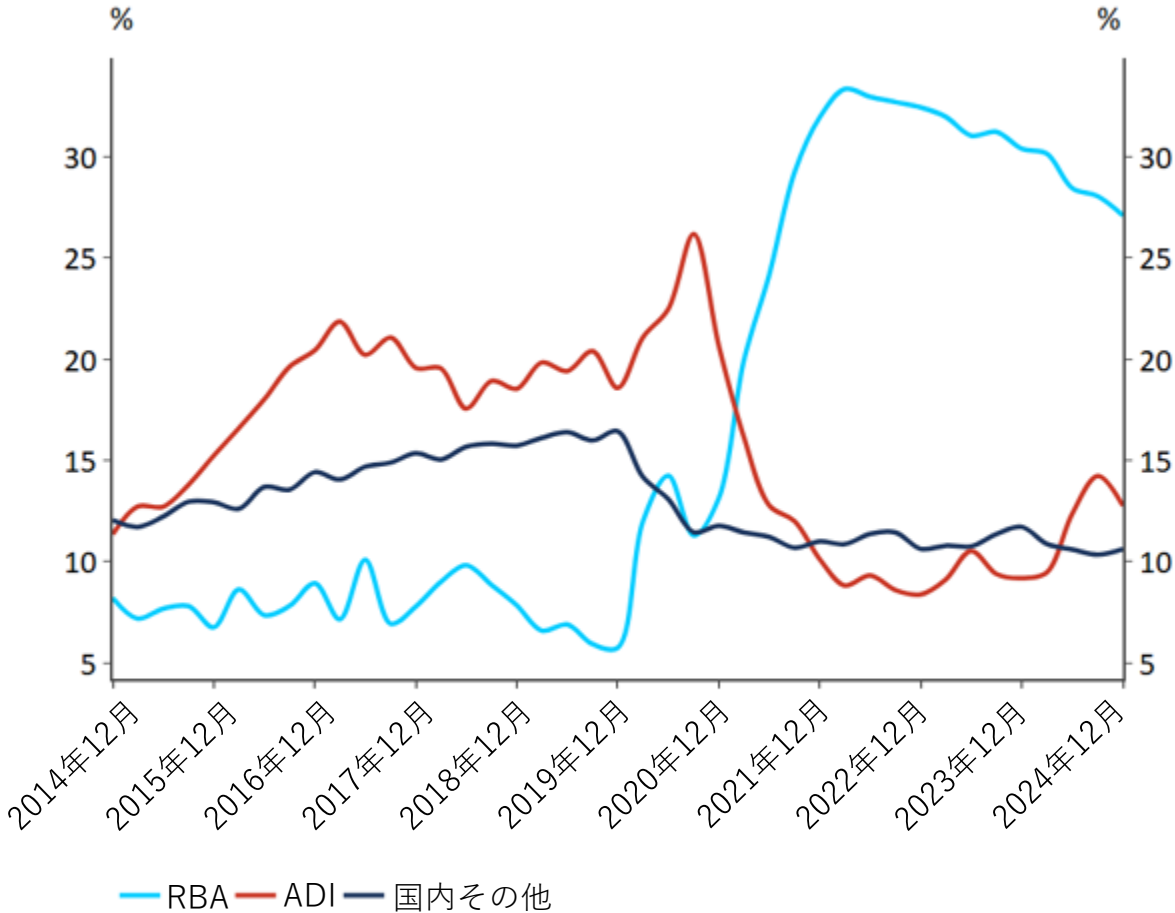
出典：AOFM、IMF。

豪州国内銀行およびノンバンクのAGB保有状況

保有額



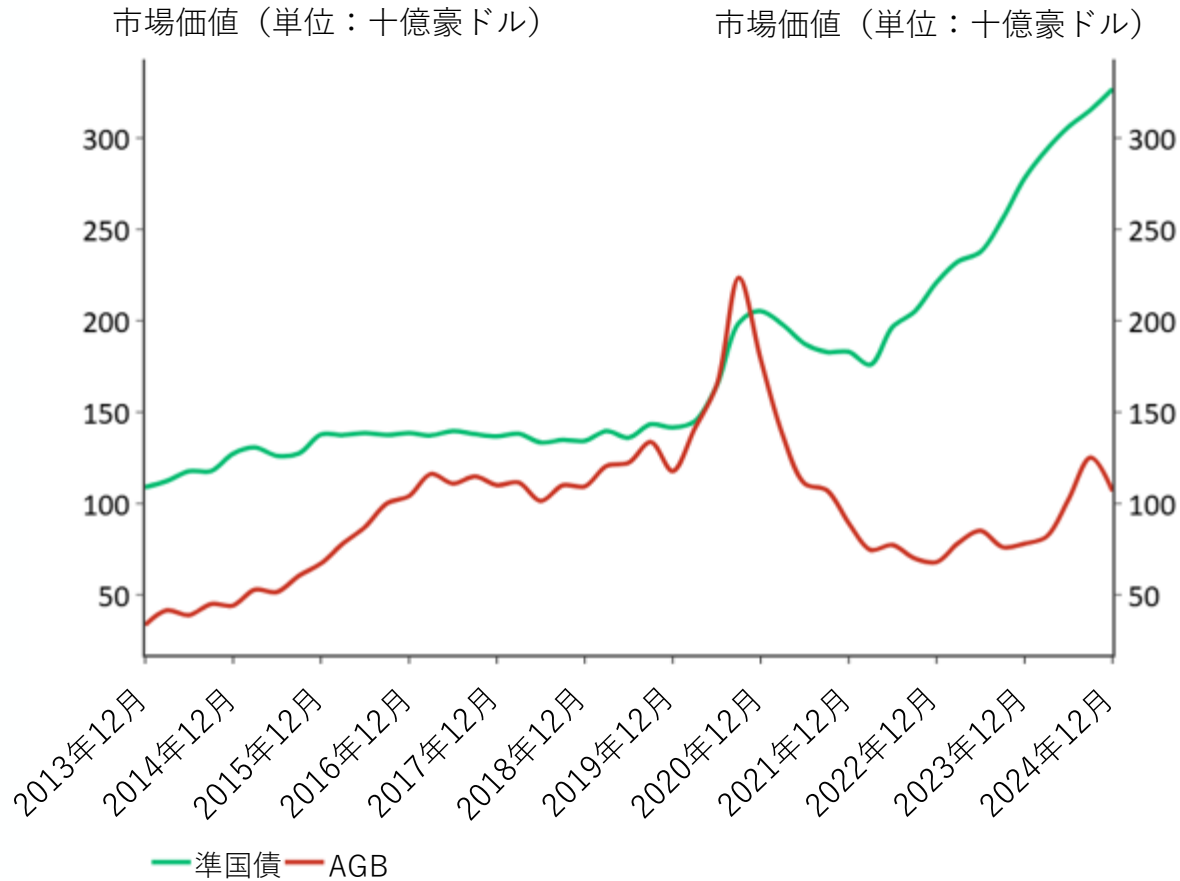
AGB市場の構成比率



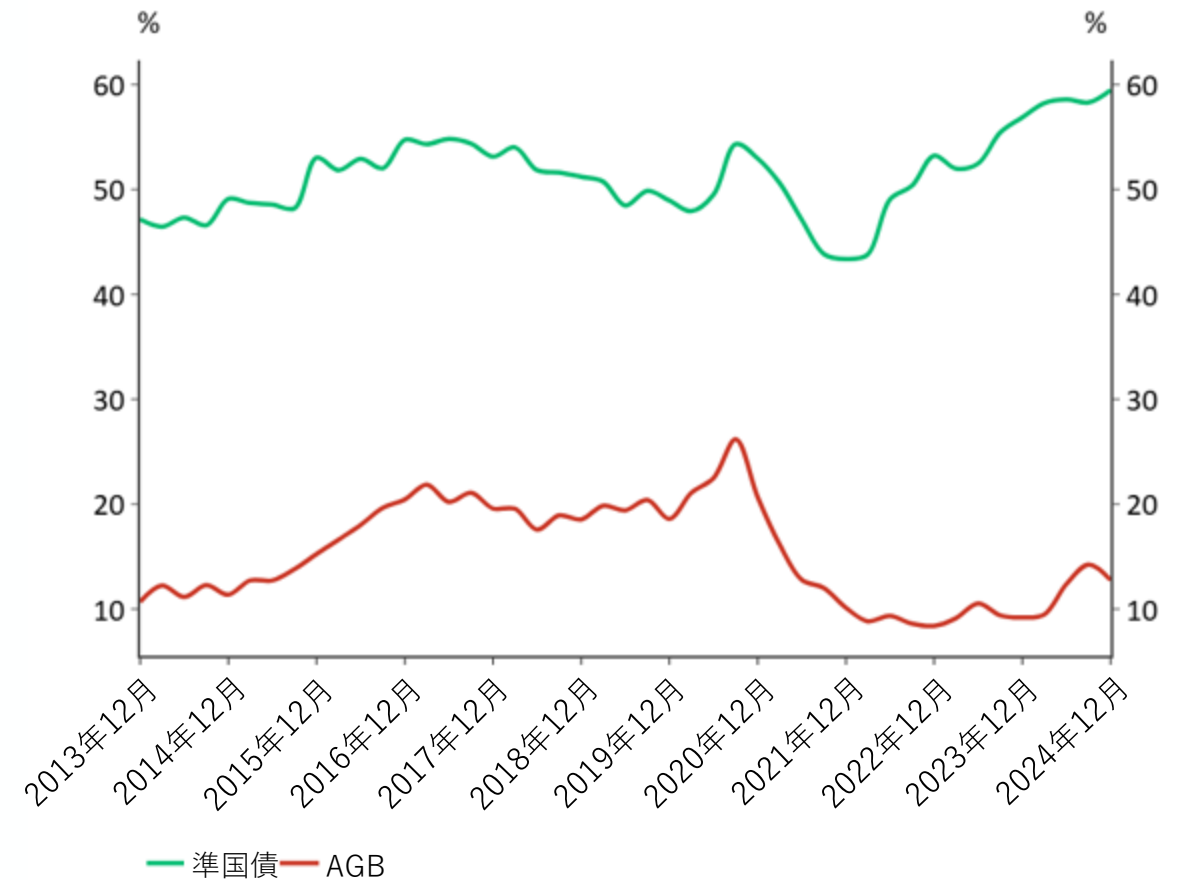
出典：ABS。保有額は買い戻し取引による調整を行っていない。AGBはトレジャリー・ボンドおよびトレジャリー・インデックス・ボンドを指す。2024年12月31日更新。

豪州国内銀行のAGBおよび準国債保有状況

保有額



各市場に占める割合

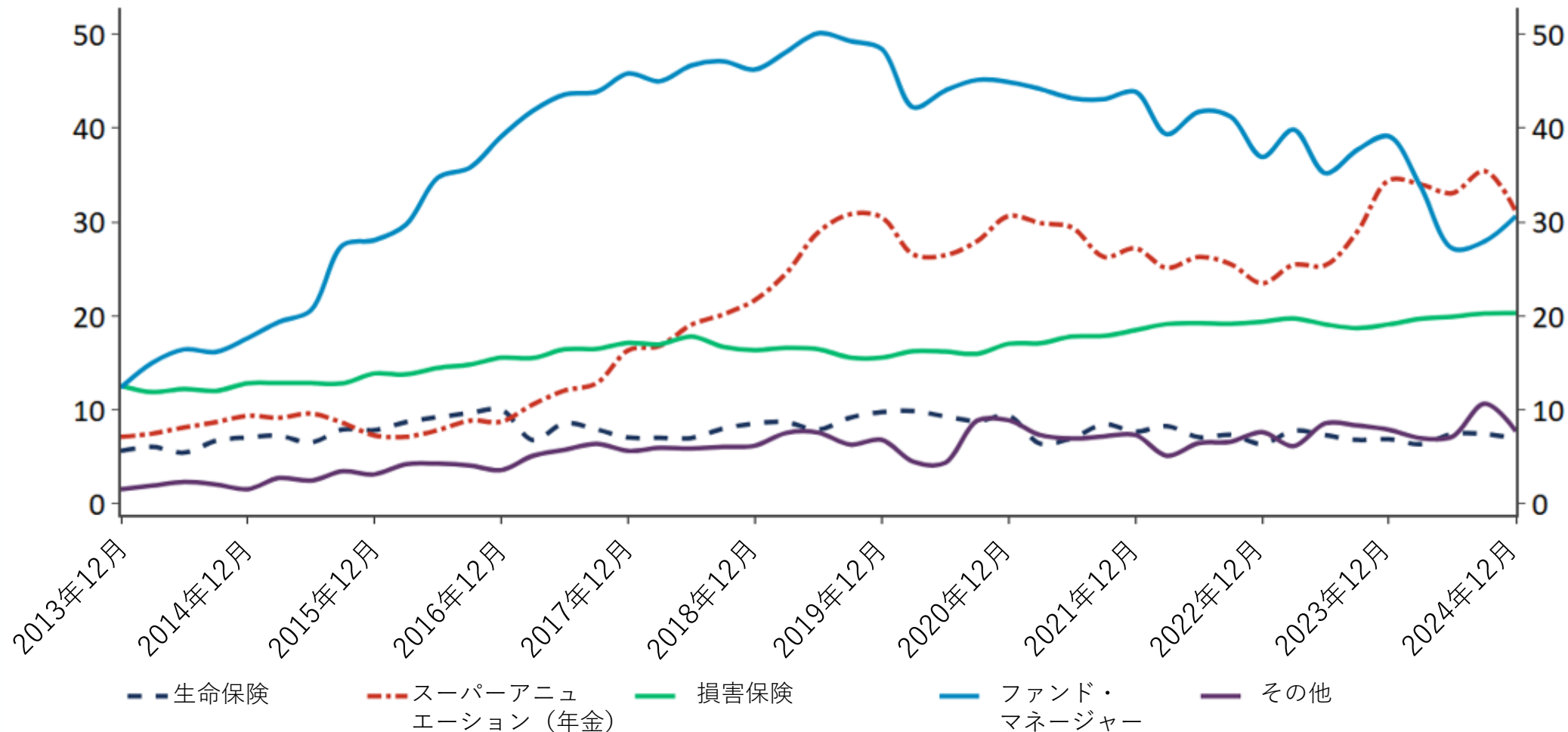


出典：ABS。AGBはトレジャリー・ボンドおよびトレジャリー・インデックス・ボンドを指す。2024年12月31日更新。

ノンバンク国内ファンドによるAGBの保有状況

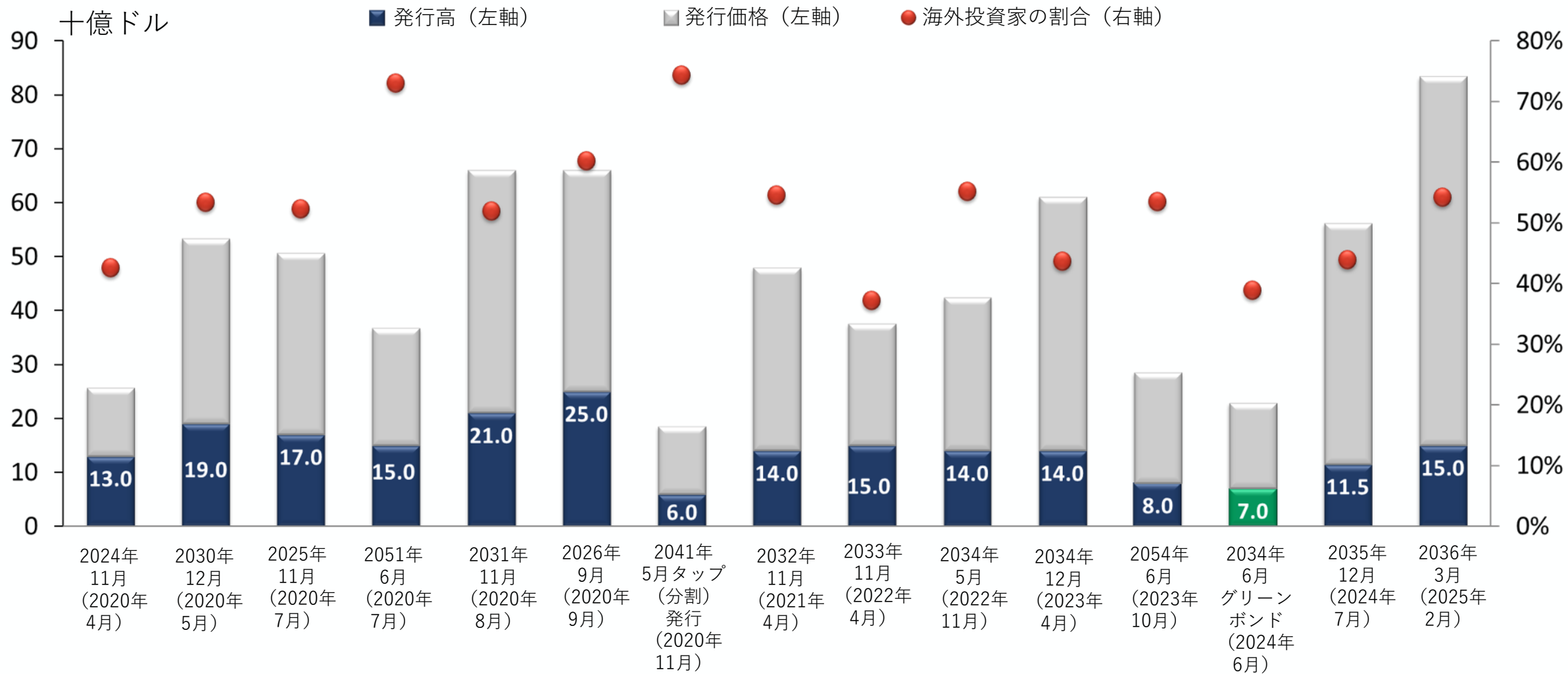
市場価値（単位：十億豪ドル）

市場価値（単位：十億豪ドル）



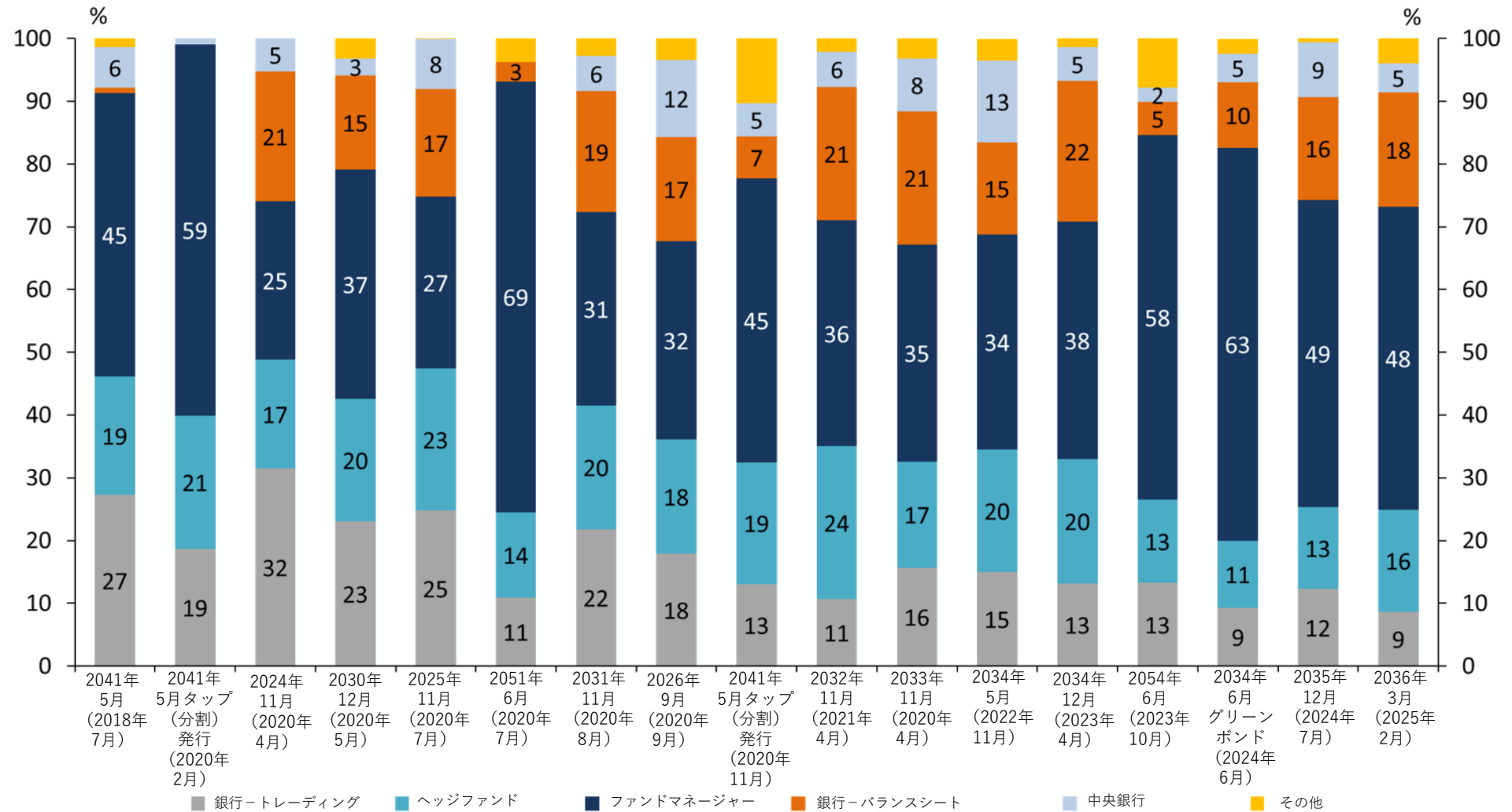
出典：ABS。AGBはトレジャリー・ボンドおよびトレジャリー・インデックス・ボンドを指す。2024年12月31日更新。

トレジャリー・ボンド・シンジケーション



出典：AOFM

ディール別投資家カテゴリー



出典：AOFM

オーストラリア国債

トレジャリー・ボンド:	発行残高 (豪ドル)	利回り (%)	修正デュレーション
3.25% 2025年4月21日	41,500,000,000	4.13	0.08
0.25% 2025年11月21日	39,200,000,000	3.92	0.65
4.25% 2026年4月21日	39,600,000,000	3.80	1.03
0.50% 2026年9月21日	39,400,000,000	3.75	1.47
4.75% 2027年4月21日	39,399,566,000	3.72	1.93
2.75% 2027年11月21日	36,000,000,000	3.73	2.52
2.25% 2028年5月21日	35,300,000,000	3.74	2.99
2.75% 2028年11月21日	40,500,000,000	3.76	3.41
3.25% 2029年4月21日	40,199,786,000	3.79	3.73
2.75% 2029年11月21日	39,400,000,000	3.85	4.36
2.50% 2030年5月21日	40,200,000,000	3.90	4.73
1.00% 2030年12月21日	40,200,000,000	3.98	5.46
1.50% 2031年6月21日	41,500,000,000	4.05	5.82
1.00% 2031年11月21日	41,800,000,000	4.12	6.28
1.25% 2032年5月21日	39,300,000,000	4.18	6.66
1.75% 2032年11月21日	29,700,000,000	4.24	6.96
3.00% 2033年11月21日	26,700,000,000	4.26	6.61
4.50% 2033年4月21日	25,400,000,000	4.32	7.39
3.75% 2034年5月21日	24,200,000,000	4.36	7.54
4.25% 2034年6月21日	8,200,000,000	4.36	7.49
3.50% 2034年12月21日	24,000,000,000	4.40	8.03
2.75% 2035年6月21日	22,650,000,000	4.43	8.62
4.25% 2035年12月21日	15,100,000,000	4.44	8.44
4.25% 2036年3月21日	15,800,000,000	4.45	8.68
3.75% 2037年4月21日	17,000,000,000	4.51	9.35
3.25% 2039年6月21日	10,800,000,000	4.62	10.90
2.75% 2041年5月21日	15,600,000,000	4.74	12.23
3.00% 2047年3月21日	14,200,000,000	4.91	14.82
1.75% 2051年6月21日	20,200,000,000	4.99	18.14
4.75% 2054年6月21日	8,900,000,000	4.97	15.33
合計:	871,949,352,000		5.1
トレジャリー・インデックス・ボンド:	発行残高 (豪ドル)	利回り (%)	修正デュレーション
3.00% 2025年9月20日	4,042,498,000	2.68	0.49
0.75% 2027年11月21日	7,250,000,000	1.61	2.63
2.50% 2030年9月20日	7,292,347,000	1.83	5.14
0.25% 2032年11月21日	5,800,000,000	2.07	7.55
2.00% 2035年8月21日	6,400,000,000	2.26	9.35
1.25% 2040年8月21日	5,900,000,000	2.52	13.79
1.00% 2050年2月21日	4,550,000,000	2.69	21.20
合計:	41,234,845,000	ポートフォリオ:	7.5

出典：AOFM、リフィニティブ。2025年3月25日現在。

オーストラリア国債は、非居住者を対象とした利子源泉課税が免除されている。

トレジャリー・ボンドのマーケットメイカー

トレジャリー・ボンドのマーケットメイキング業務を提供する意思を表明している金融機関の一覧
(アルファベット順に記載)。

具体的なアクティビティの度合いは金融機関ごとに異なる。



Barrenjoey[®]



J.P.Morgan

MIZUHO



NOMURA
Connecting Markets East & West



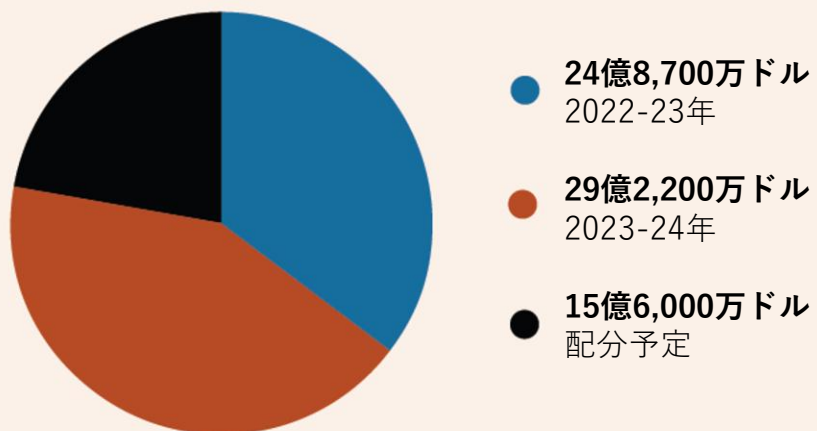
グリーン・トレジャリー・ボンドーフレームワーク

- [オーストラリア政府によるグリーンボンド・フレームワーク](#)および付属の[セカンド・パーティ・オピニオン（SPO）](#)は、[AOFMのウェブサイト](#)に掲載。
- 本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）のグリーン・ボンド原則に沿ったもので、気候債券イニシアチブのタクソノミーに基づく。
- グリーン・トレジャリー・ボンドは、オーストラリア政府の3つの主要なグリーン目標のうち、1つ以上に強く合致する支出に充当される。
 - 気候変動の緩和
 - 気候変動への適応
 - 環境面での成果の改善

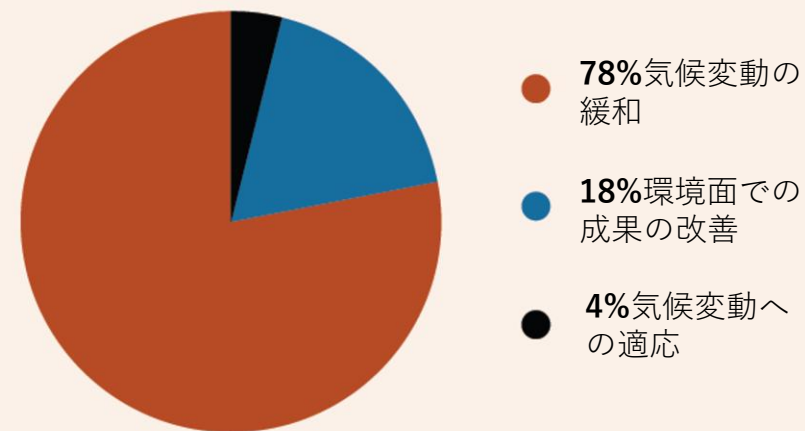
グリーン・トレジャリー・ボンドレポート

- 第一回目の「[アロケーション&インパクトレポート](#)」がAOFMのウェブサイトで閲覧可能。
- レポートは毎年発行される。
- また、レポートは外部監査と検証の対象となる。

調達額70億ドルのうち、54億ドルが2022-23年と2023-24年の支出に割り当てられた。



収益の大半は、2022-23年と2023-24年にかけてのオーストラリアの気候変動緩和への取り組みを支援するために使用された。



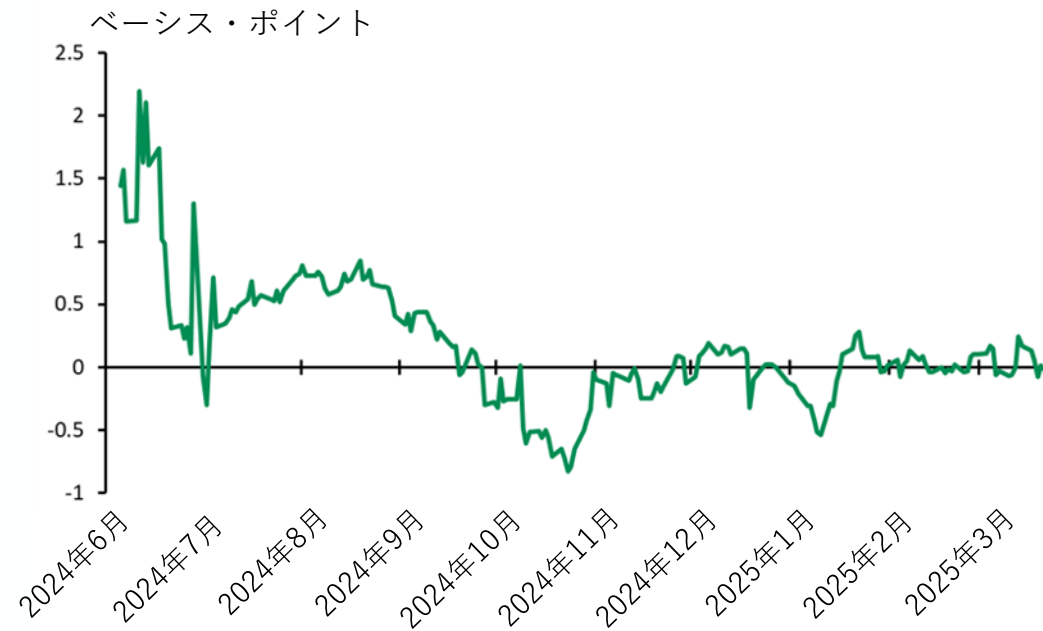
グリーン・トレジャリー・ボンドー発行

- 継続的な発行プログラムが流動性をサポート。
- 2024-25年度の入札による発行額は約20億ドルと予想される。総額12億ドルのグリーンボンド入札が4回実施された。
- AOFMは2～3年ごとに新たな品目の導入を予定。
- グリーン・トレジャリー・ボンドはAOFMによる発行総額のごく一部にとどまる。
- リテール・グリーンボンドは2025年後半に発行を予定。

グリーン・トレジャリー・ボンドーセカンダリー市場

- グリーン・トレジャリー・ボンドの活発なセカンダリー市場
- 入札に対する強い関心と需要
- 定期的に市場に参入する新規投資家からの需要が継続して見られる。
- グリーン・トレジャリー・ボンド2034年6月債の利回りは、2034年5月債に近い水準で推移している。

グリーンニアム



詳細情報

ウェブサイト： www.aofm.gov.au

所在地： オーストラリア財務省債務管理庁（AOFM）
Treasury Building, Level 3, Newlands Street
Parkes ACT 2600 Australia

お問い合わせ： InvestorRelations@aofm.gov.au

ベンチマーク利回りの検索は以下をご利用ください

<https://www.rba.gov.au/statistics/tables/>

マーケットデータおよびライブイールド

ブルームバーグ：

“AOFM Go”（ホーム ページ）

“ACGB Govt Go”（トレジャリー・ボンドおよびトレジャリー・インデックス・ボンド）

“ACTB Govt Go”（トレジャリー・ノート）

リフィニティブ：

“AOFMINDEX”（ホーム ページ）

“Yieldbroker”（AGS イールド）

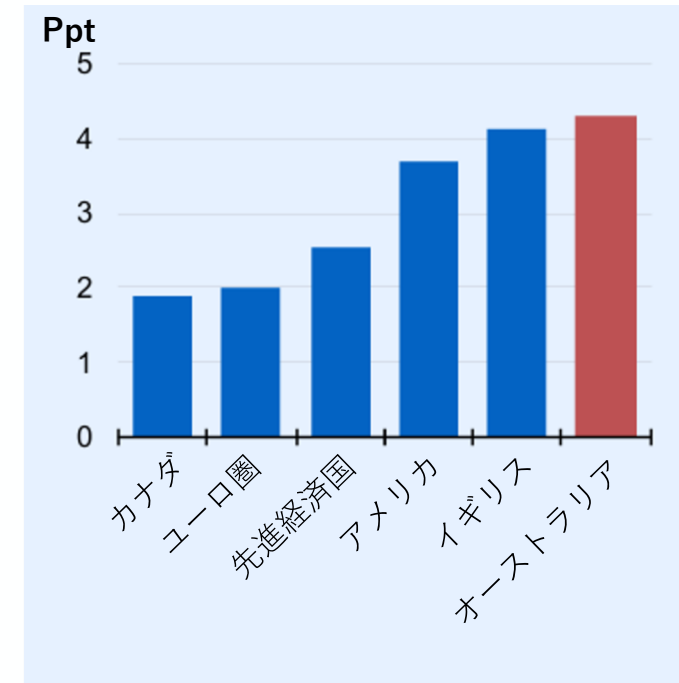
経済見通し

経済指標予測

	実績	予測				
	2023-24	2024-25	2025-26	2026-27	2027-28	2028-29
実質GDP（変動率）	1.4	1.5	2.25	2.5	2.75	2.75
雇用率（変動率）	2.2	2.75	1	1.25	1.5	1.5
失業率（%）	4	4.25	4.25	4.25	4.25	4.25
消費者物価指数（変動率）	3.8	2.5	3	2.5	2.5	2.5
賃金価格指数（変動率）	4.1	3	3.25	3.25	3.5	3.75
名目GDP（変動率）	4.1	4.25	3.25	4	5.25	5.5
総債務（対GDP）	33.9	33.7	35.5	36.5	36.9	36.8
純債務（対GDP）	18.4	19.9	21.5	22.6	22.7	23.1

出典：ABS、オーストラリア財務省予算2025-26年度

財政収支の対GDP比の変化 （2021年～2025年）

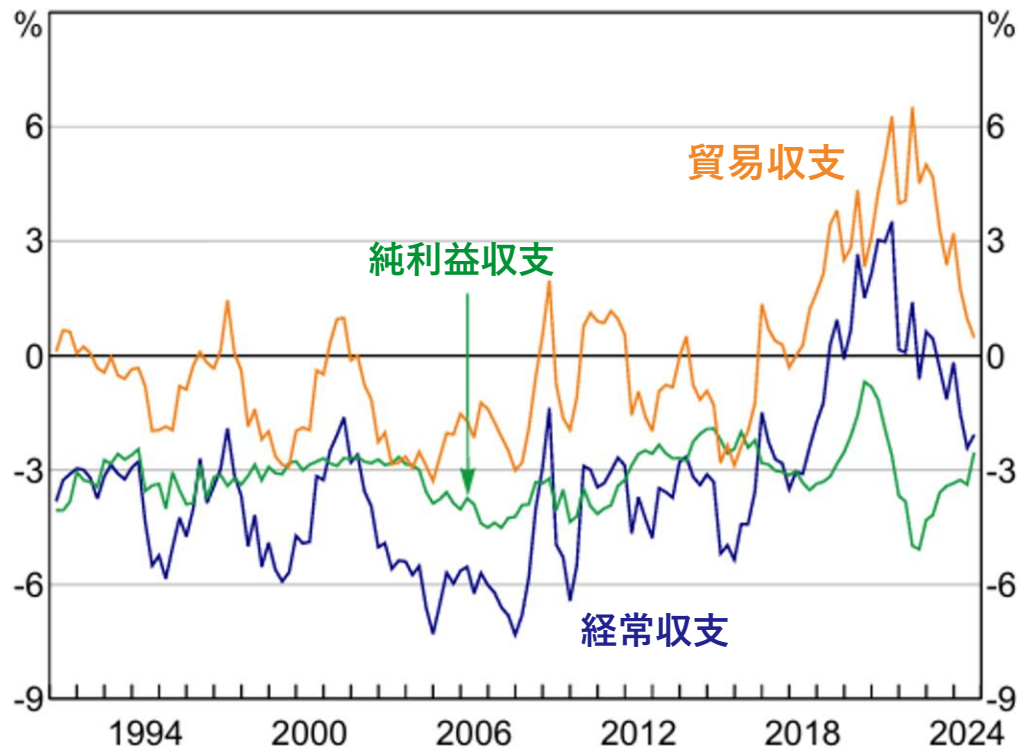


出典：オーストラリア財務省、IMF。

経済見通し

経常収支

名目GDP比



取引条件*

2022/23 平均=100、対数スケール



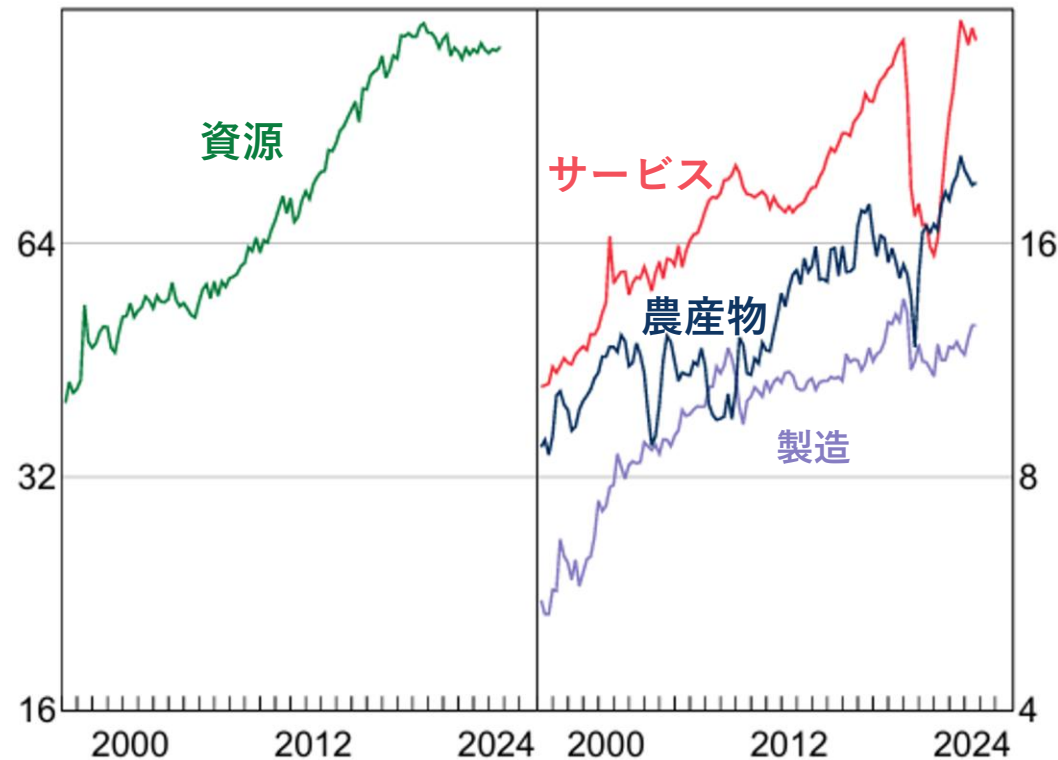
* 1960年以前は年次データを使用。

出典：RBA、ABS

経済見通し

輸出品

ログスケール、四半期ごと



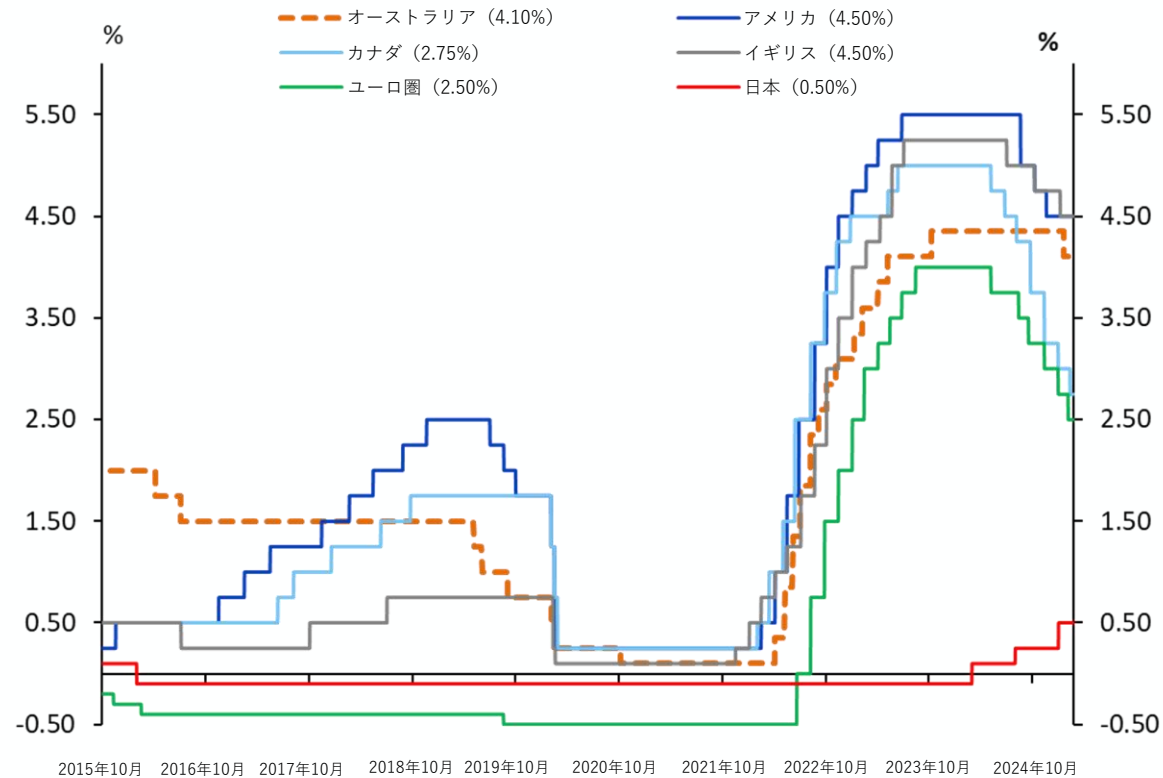
62%鉄鉱石先物価格



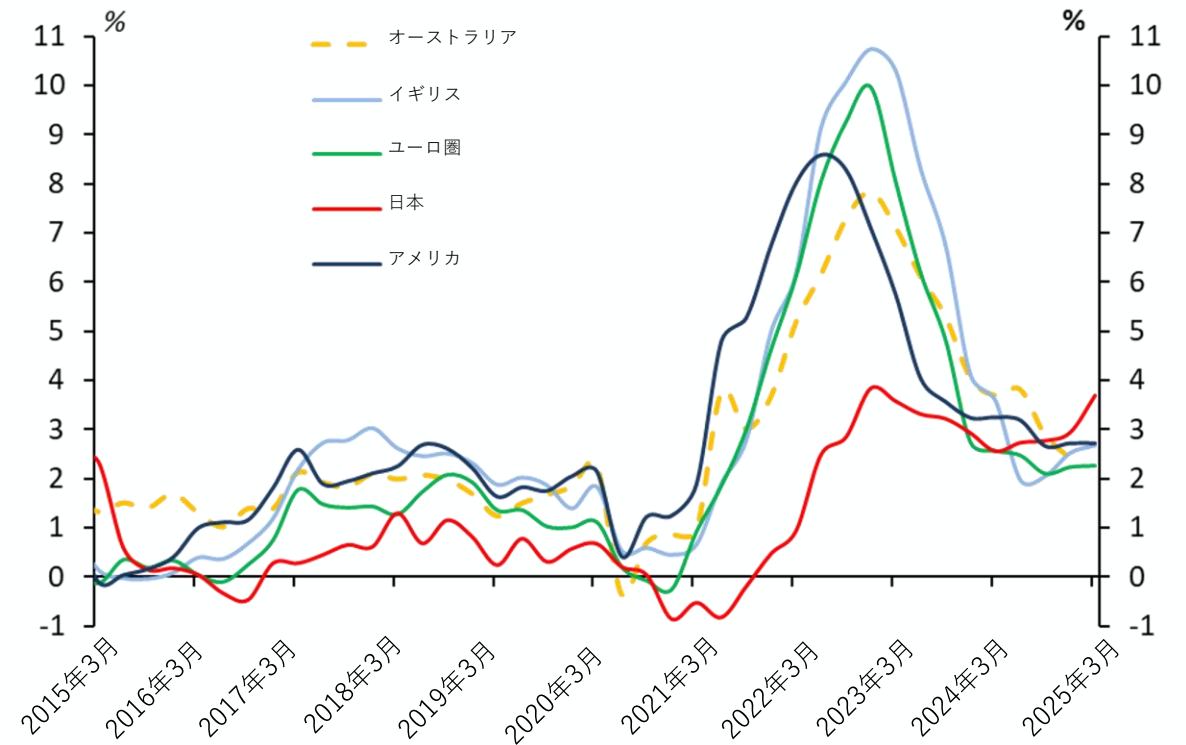
出典：RBA。主要コモディティが2026年3月期末までの4四半期にわたり高値から下落すると予測。鉄鉱石のスポット価格が1トン当たり60米ドルまで下落、冶金用石炭のスポット価格が1トン当たり140米ドルまで下落、熱炭のスポット価格が1トン当たり70米ドルまで下落すると予測。バルク価格は全てFOBベース。

経済見通し

中央銀行の政策金利



CPIの各国比較



出典：リフィニティブ

Disclaimer

The information in this publication is for general guidance only. It does not constitute legal or other professional advice, and should not be relied on as a statement of the law in any jurisdiction. As this publication is intended only as a general guide, it may contain generalisations.

While the AOFM will make every reasonable effort to provide current and accurate information, neither the AOFM nor the Commonwealth of Australia accept any responsibility for the currency, accuracy or completeness of that information. Any estimates, analytics, projections, forecasts or forward looking statements are subject to risks, uncertainties and assumptions which may cause the actual results and performances to differ materially from any expected future results or performances implied by such statements. The AOFM recommends that you exercise your own skill and care with respect to the use or reliance on that material or information, or seek professional advice if appropriate.

The AOFM and the Commonwealth of Australia disclaims all and any guarantees, undertakings, representations and warranties, express or implied, and shall not be liable for any loss or damage whatsoever (including incidental or consequential loss or damage), arising out of or in connection with any use of or reliance on the information in this publication.

Copyright statement

Ownership of intellectual property rights in this publication

Unless otherwise noted, copyright (and any other intellectual property rights, if any) in this publication is owned by the Australian Office of Financial Management (AOFM).

Creative Commons licence

With the exception of the Commonwealth Coat of Arms (see below); the AOFM logo; the logos listed under 'Market Makers'; and any information sourced from third party copyright owners all material in this publication is licensed under a Creative Commons Attribution BY 4.0 International License. Third party data may not be reproduced without the consent of the third party.



Creative Commons Attribution BY 4.0 International Licence is a standard form license agreement that allows you to copy, distribute, transmit and adapt this publication provided that you attribute the work. A summary of the licence terms is available from <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>. The full licence terms are available from <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode>.

The AOFM's preference is that you attribute this publication (and any material sourced from it) using the following wording:

Source: Licensed from the Australian Office of Financial Management under a Creative Commons [Attribution BY 4.0 International](https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/) Licence.

The Australian Office of Financial Management does not necessarily endorse the content of this publication.

Use of the Commonwealth Coat of Arms

The terms under which the Commonwealth Coat of Arms can be used are set out on the Department of the Prime Minister and Cabinet website (see www.pmc.gov.au/resources/commonwealth-coat-arms-information-and-guidelines).

Contact us

Enquiries regarding the licence and any use of this document please contact enquiries@aofm.gov.au.